

平成26年7月15日(火)
平成26年度 第3回
大阪府河川整備審議会

参考資料3

大和川水系石川ブロック 河川整備計画（原案）についての 住民説明会

本日の説明会のポイントと流れ

① 治水を河川から流域全体へ
(大阪府の新たな治水対策)

② 石川ブロックの現状について
(大和川水系石川ブロック河川整備計画(原案))

③ これからの石川ブロックでの取組みについて
(大和川水系石川ブロック河川整備計画(原案))

(質疑・応答)

④ 洪水はん濫・浸水の危険性と地域での取組みについて
(洪水リスク表示図)

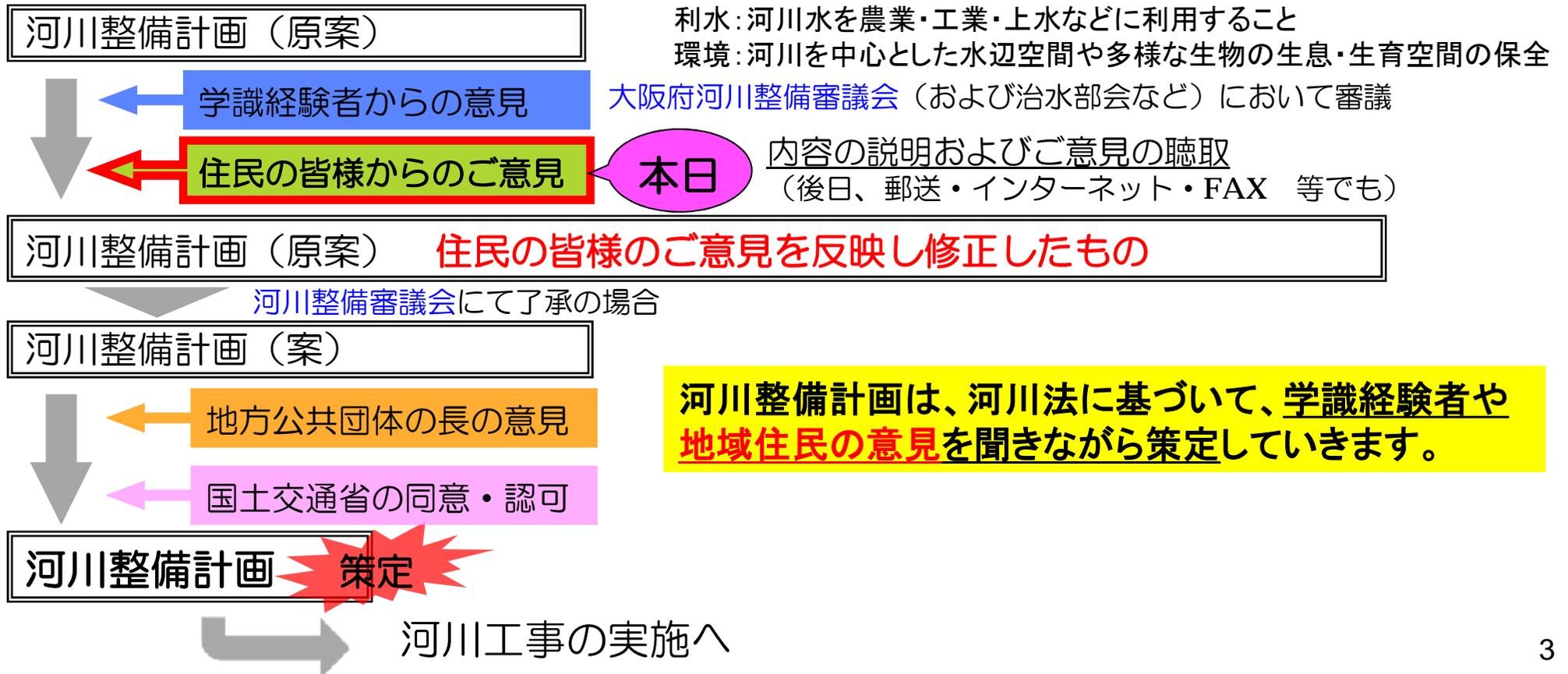
①治水を河川から流域全体へ

河川整備計画とは

河川整備計画とは、河川整備基本方針に基づき、今後概ね**20～30年間**で計画的に行う河川の整備や管理における具体的な目標や内容を示すもの。

河川整備基本方針とは、将来の川のあるべき姿や河川整備の長期的な基本となる方針を治水・利水・環境について定めるもの。

河川整備計画の策定フロー



河川整備計画は、河川法に基づいて、**学識経験者や地域住民の意見**を聞きながら策定していきます。

① 治水を河川から流域全体へ

大阪府の新たな治水対策（今後の治水対策）

【基本的な理念】 人命を守ることを最優先とする。

【取組み方針】

- (1)現状での河川はん濫・浸水の危険性に対する府民の理解を促進する。
- (2)「逃げる」^に「凌ぐ」^{しの}施策を強化するとともに、「防ぐ」^{ふせ}施策を着実に実施する。
- (3)府民が対策の効果を実感できる期間（概ね10年）で実現可能な対策及び実施後の河川はん濫・浸水の危険性をわかりやすく提示する。

将来目標（長期計画）

府管理の全河川について、時間雨量 80ミリ程度※¹の降雨でも、川があふれて、家が流され、人がなくなるようなことをなくす。

※¹ 時間雨量80ミリ程度の降雨は、100年に一度発生する恐れがある降雨

当面の治水目標

【今後20～30年の当面の治水目標】

時間雨量50ミリ程度※²の降雨で床下浸水を発生させない。

かつ、少なくとも時間雨量65ミリ程度※³の降雨で床上浸水を発生させない。

※² 時間雨量50ミリ程度の降雨は、10年に一度発生する恐れがある降雨

※³ 時間雨量65ミリ程度の降雨は、30年に一度発生する恐れがある降雨

① 治水を河川から流域全体へ

地先の危険度
低減に向けた

総合的・効果的な治水手法の組合せ

流出抑制(凌ぐ)

雨が降っても河川へ出る水量を減らす。
(家庭での貯留施設の設置やため池の治水活用など)

治水施設の保全・整備(防ぐ)

河川堤防の決壊によるはん濫をできるだけ回避するなど、
河川を流れる水は可能な限りあふれさせない。
(河川改修・堆積土砂除去など)

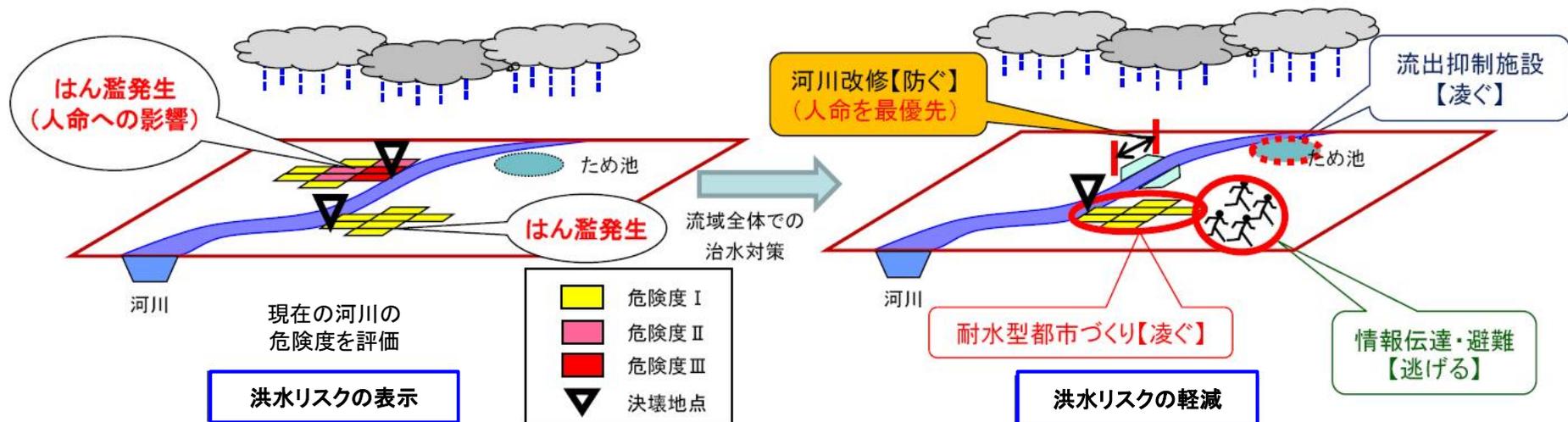
耐水型都市づくり(凌ぐ)

河川からあふれても被害が最小限となる街をつくる。
(家屋の耐水化・高床化などの促進)

情報伝達・避難(逃げる)

河川からあふれそうなときはできるだけ早く逃げる。
(洪水はん濫・浸水による危険性の周知、流域市と連携した避難体制づくりの促進など)

<流域全体での治水対策イメージ>



② 石川ブロックの現状について

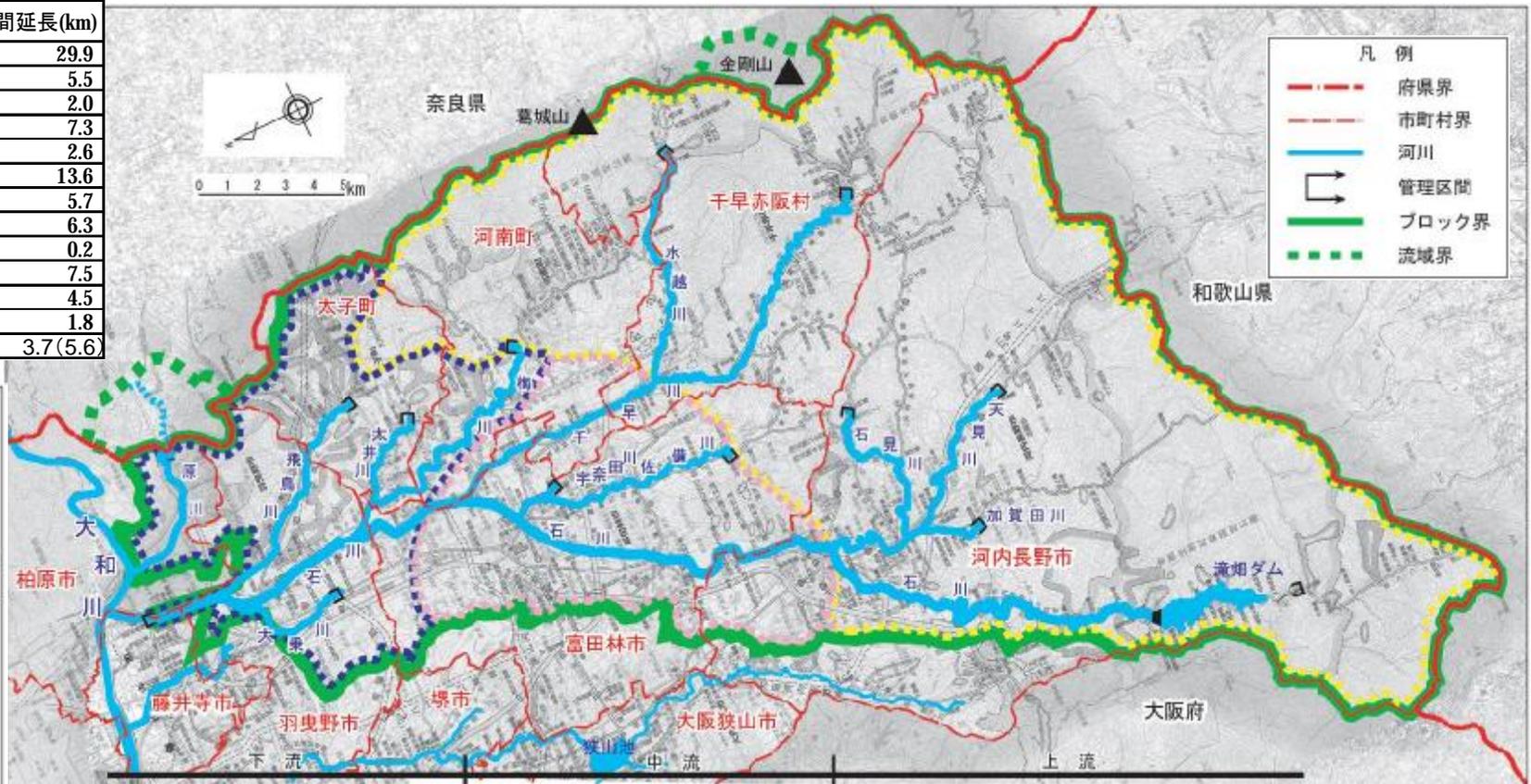
流域の概要

石川ブロックは、大阪府と奈良県・和歌山県の境をなす金剛葛城山系に源を発し、南河内エリアの中心部を貫流して大和川と合流する一級河川石川とそれらの支川流域、奈良県香芝市西部の丘陵地に源を発し、奈良県との府県境である二上山北麓の山間部を貫流し、大和川に合流する一級河川原川で構成されます。

石川の流路延長は約36km(うち指定延長29.9km)、流域面積は約222km²で南大阪最大の河川であり、大和川に合流するまでに、天見川および佐備川、千早川、梅川、大乘川、飛鳥川の各支川が流入しています。

河川名	流域面積(km ²)	指定区間延長(km)
石川	222.27	29.9
飛鳥川	10.91	5.5
大乘川	9.18	2.0
梅川	32.25	7.3
太井川	6.88	2.6
千早川	35.30	13.6
水越川	14.75	5.7
佐備川	17.30	6.3
宇奈田川	3.50	0.2
天見川	56.46	7.5
石見川	14.47	4.5
加賀田川	18.98	1.8
原川	6.14 (10.04)	3.7 (5.6)

※ ()内は奈良県域含む



石川ブロック図

② 石川ブロックの現状について

河川の特徴



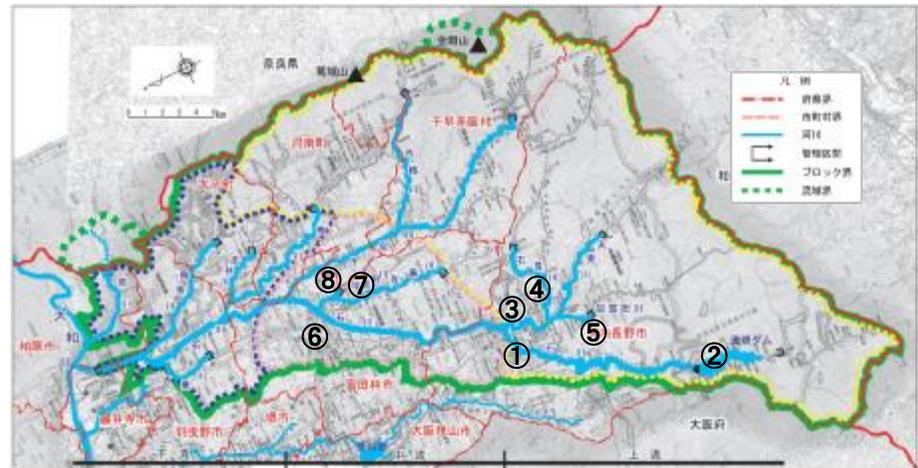
<石川上流部(石川上流部, 天見川, 石見川, 加賀田川)>

周囲に樹林が広がり、良好な自然環境を有し、また、河川は蛇行し、勾配も急で、瀬や淵が連続しています。

<石川中流部(石川中流部, 佐備川, 宇奈田川)>

周囲には宅地や農地が広がり、所々に樹林が見られ、河川には瀬や淵も見られます。

棚田に代表される農地と一体となって、里地の自然環境を形成しています。

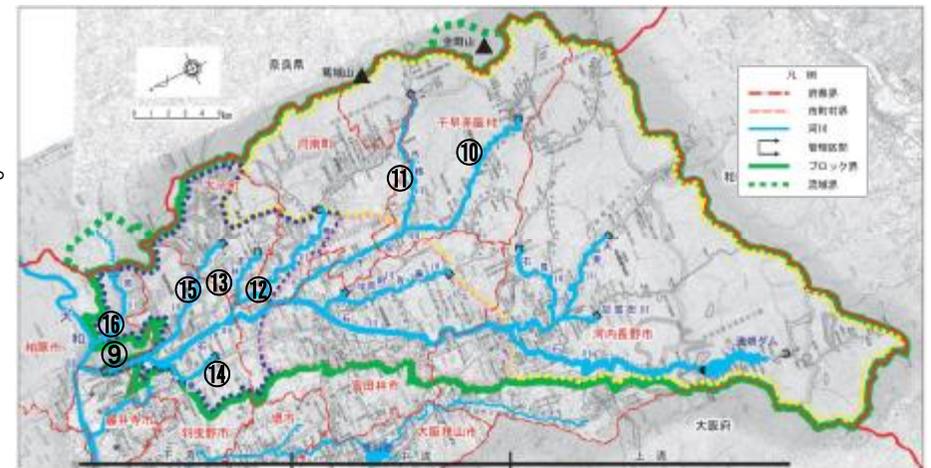


② 石川ブロックの現状について

河川の特徴



＜石川下流部(石川下流部, 千早川, 水越川, 梅川, 太井川, 大乘川, 飛鳥川, 原川)＞
周囲には宅地や農地が広がり、所々に樹林が見られ、河川には瀬や淵も見られます。
農地と一体となって、里地の自然環境を形成しています。
また、歴史的な町並みや史跡、文化財が多く残っています。
河川の勾配は比較的緩やかで、直線的な河道も見られます。



② 石川ブロックの現状について

自然環境

石川ブロックでは、次のような動植物が確認されています。流域の下流部は市街化していますが、上流部には、多くの自然が残っています。

魚類：9科19種(在来種7科16種、外来種2科3種)を確認

貴重種：ドジョウ

外来種：オオクチバス、ブルーギルなど

底生生物：13科16種を確認

貴重種：カワニナ など

鳥類：川との関わりが深い種を含む40科165種を確認

重要種：コチドリ、イカルチドリ、シロチドリ、コヨシキリ、オオヨシキリ

昆虫類：指標昆虫10種のうち7種および特定昆虫類100種のうち60種を確認

RDB掲載種：カワラバッタ、キイロヤマトンボなど



ドジョウ



タカハヤ

※ゲンジボタルの生息も確認
石川本川の上流や、支川の上流でも
ゲンジボタルの生息が確認されてい
ます。



ゲンジボタル



カワニナ



イカルチドリ



キイロヤマトンボ

② 石川ブロックの現状について

歴史・文化・観光

石川ブロックでは、原始・古代から近世にかけての歴史・文化環境を有する地域で、沿川に多くの史跡・文化財がみられます。

公共レクリエーション施設としては、府営石川河川公園、花の文化園、富田林市農業公園サバーファーム、錦織(にしこおり)公園、滝畑レイクパークなど、山地や丘陵部の豊かな自然環境を生かした公園などが整備されています。



聖徳太子の墓
出典：近つ飛鳥の里
太子歴史探訪マップ
(太子町教育委員会)



<東高野街道>出典：まちなみ



府営石川河川公園



滝畑レイクパーク(河内長野市)



サバーファーム(富田林市)



原川親水公園(柏原市)



玉手橋(藤井寺市)



大阪府立近つ飛鳥博物館(河南町)



大阪府立花の文化園(河内長野市)



南河内サイクルライン(藤井寺市～河内長野市)

② 石川ブロックの現状について

治水の現状と課題

- 石川流域では、過去に多くの水害が発生し、特に昭和57年8月の台風9・10号では、日雨量は石川流域で193mm、広範囲で浸水が発生し、人的・物的被害が甚大となった。
- 平成7年7月の梅雨前線による豪雨では、日雨量は172mm、1時間に59mmと短時間の雨量となり、河内長野市で床上浸水5棟、床下浸水39棟の被害が発生した（内水被害）。
- 平成19年7月16日から17日にかけて、短時間で局地的な大雨があり、石川や支川において河川施設の被害、富田林市、羽曳野市、太子町、河南町において30棟の床下浸水被害（内水）が発生した。
- 大乘川の一部流域では、石川及び大乘川の背水の影響により河川に流入する水路から内水浸水が発生する恐れがある。



石川新北橋（平成25年）



天見川平和橋付近（平成25年）

洪水リスク表示図



河道状況：現況河道
外力：W=1/100

◆大乘川
時間雨量50ミリ程度の降雨により浸水被害が発生。

◆石川
時間雨量65ミリ程度の降雨により浸水被害が発生。

◆佐備川
時間雨量50ミリ程度の降雨により浸水被害が発生。

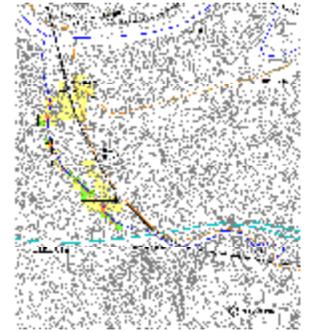
◆宇奈田川
時間雨量80ミリ程度の降雨により浸水被害が発生。

◆天見川
時間雨量50ミリ程度の降雨により浸水被害が発生。

◆加賀田川
時間雨量50ミリ程度の降雨により浸水被害が発生。

◆石見川
時間雨量50ミリ程度の降雨により浸水被害が発生。

◆原川
時間雨量65ミリ程度の降雨により浸水被害が発生。



◆飛鳥川
時間雨量50ミリ程度の降雨により浸水被害が発生。

◆太井川
当面の治水目標を確保。

◆梅川
時間雨量50ミリ程度の降雨により浸水被害が発生。

◆水越川
当面の治水目標を確保。

◆千早川
時間雨量50ミリ程度の降雨により浸水被害が発生。

② 石川ブロックの現状について

河川利用及び河川環境の現状と課題（空間利用）

- Ⅰ 石川河川公園やサイクルラインなどは、多くの地域住民に利用され、地域のオアシス的な存在となっており、また広域避難地として防災拠点にもなっています。
- Ⅰ 石川ブロックでは、10の団体がアドプト・リバー・プログラムによる清掃活動や生物研究活動などを行っています。
- Ⅰ 河川の水辺空間を活用した地域活動が盛んであるが、近年では、洪水時の取水堰倒伏に伴う水量急増による水難事故も発生しています。

アドプトリバープログラム実施箇所 一覧

アドプト名	河川名	実施箇所	団体名
①	佐備川	富田林市西板持五丁目～佐備	富田林自然に親しむ会
②	栄町	河内長野市栄町	河内長野市栄町連合町会
③	唐川ホタルを守る会	南河内郡太子町山田	唐川ホタルを守る会
④	高向	河内長野市高向	高向区自治協議会
⑤	伏見堂	富田林市伏見道大橋付近から右岸上流	伏見堂地域協力委員会
⑥	螢の郷	宇奈田川合流点～高橋 佐備川合流点～宇奈田川一級基点	佐備川・宇奈田川環境保護委員会
⑦	大師町	喜多畑橋上流40m～新喜多畑橋上流40m	社団法人河内長野シルバー人材センター
⑧	飛鳥川	月読橋～月読橋上流250m 太子中央線下流50m～太子中央線上流150m	飛鳥川じゃこ取りネットワーク
⑨	NM28	高橋下流100m～高橋上流50m	錦織まちづくり協議会
⑩	加賀田川下エコリバー	加賀田橋上流50m～加塩橋上流50m	加賀田川下エコリバー



府営石川河川公園(あすか花回廊)



石川水難事故記事
(H22.11.11読売新聞)



石川水難事故イメージ図

② 石川ブロックの現状について

河川利用及び河川環境の現状と課題（自然環境・景観）

I 石川ブロックの河川では、良好な自然環境の保全、流域の豊富な歴史・文化資源との連携、農業と自然の共生といったことを、ゾーンの特性に配慮しながらエリアの状況に応じて取り組んでいく必要があります。

飛鳥川エリア(里地ゾーン-A)

- ・農地や里山と一体となった自然環境として、動植物の生息・生育環境の保全が必要
- ・流域の豊富な歴史・文化資源と身近な自然にふれる場としての活用が必要



竹内街道(出典:まちなみ)

千早川下流・佐備川エリア(里地ゾーン-B)

- ・農地や里山と一体となった自然環境として、動植物の生息・生育環境の保全が必要
- ・農業と自然の共生にふれる場としての活用が必要



棚田(下赤阪)

千早川上流・天見川上流エリア(山地ゾーン)

- ・周辺の樹林と一体となった動植物の生息・生育環境の保全が必要
- ・流域内外の人々が訪れ、豊かな自然を体験する場としての活用が必要

天見川下流エリア(市街地ゾーン-B)

- ・豊かな緑空間として、まちの景観に潤いを与える構成要素としての保全、身近な自然の場としての活用が必要

石川上流エリア(山地ゾーン)

- ・上下流の地域をつなぎ、周辺の樹林と一体となった動植物の生息・生育環境の保全が必要
- ・流域内外の人々が訪れ、豊かな自然を体験する場としての活用が必要

石川下流エリア(市街地ゾーン-A, 里地ゾーン-A, B)

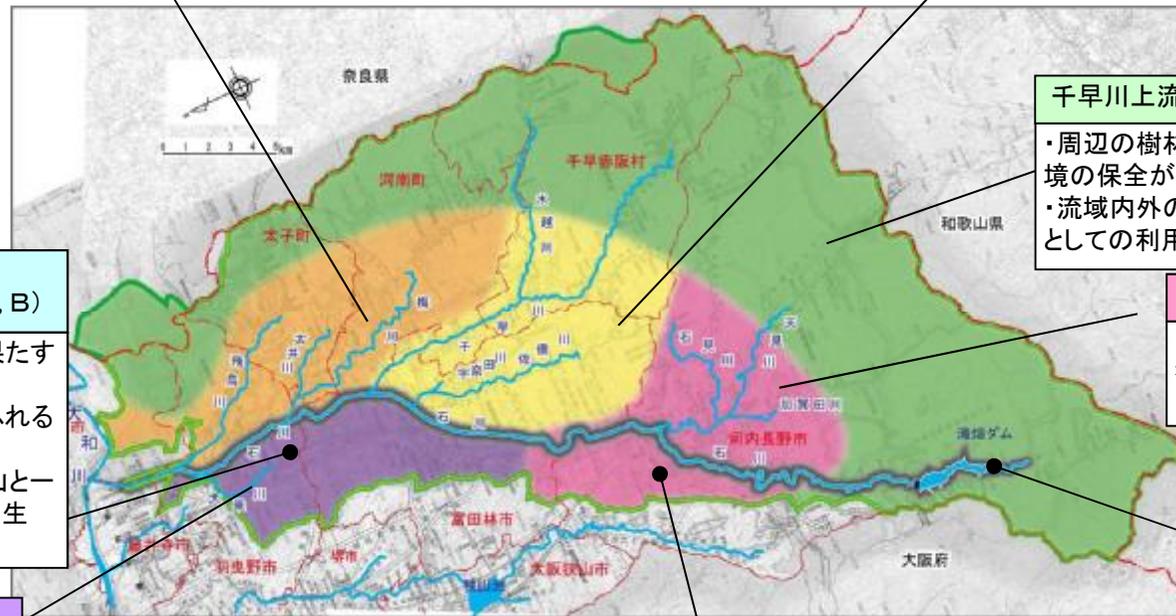
- ・特性の異なる地域をつなぎ役割を果たすことが必要
- ・地域の歴史・文化と身近な自然にふれる場としての活用が必要
- ・上下流の地域をつなぎ、農地や里山と一体となった自然環境として、動植物の生息・生育環境の保全が必要

大乘川エリア(市街地ゾーン-A)

- ・周辺景観と調和した河川空間の整備が必要

石川中流エリア(市街地ゾーン-B)

- ・豊かな緑空間として、まちの景観に潤いを与える構成要素としての保全、身近な自然の場としての活用が必要
- ・上下流の地域をつなぎ貴重な自然環境として、動植物の生息・生育環境の保全が必要



③ これからの石川ブロックでの取組みについて

河川整備計画の目標

洪水による災害の発生の防止または軽減

石川ブロック13河川で現在の洪水リスクを検証

時間雨量50ミリ程度（10年に1回程度）、65ミリ程度（30年に1回程度）、80ミリ程度（100年に1回程度）、90ミリ程度（200年に1回程度）の降雨でどのような河川氾濫・浸水が発生するかをシミュレーション実施。



大阪府内での当面の治水目標※を達成するために 対策が必要な河川で最も効果的・効率的な整備内容を選定

当面の治水目標：時間雨量50ミリ程度の降雨で床下浸水が発生させない。

かつ、少なくとも時間雨量65ミリ程度の降雨で床上浸水が発生させない。



石川ブロック13河川の内、
石川、飛鳥川、大乘川、梅川、千早川、佐備川、宇奈田川、天見川、石見川、
加賀田川、原川の11河川で治水目標を設定

※太井川、水越川は現況で府内での当面の治水目標が確保できているため、治水対策の目標は設定しない。

③ これからの石川ブロックでの取組みについて

計画対象区間、期間

計画対象区間

Ⅰ 石川水系及び原川水系の一級河川指定区間

p洪水対策：石川、飛鳥川、大乘川、梅川、千早川、佐備川、宇奈田川、天見川、石見川、加賀田川、原川

※太井川、水越川については、現況において府域での今後20～30年程度で目指すべき当面の目標を確保できています。

p維持管理等：石川水系及び原川水系の一級河川指定区間

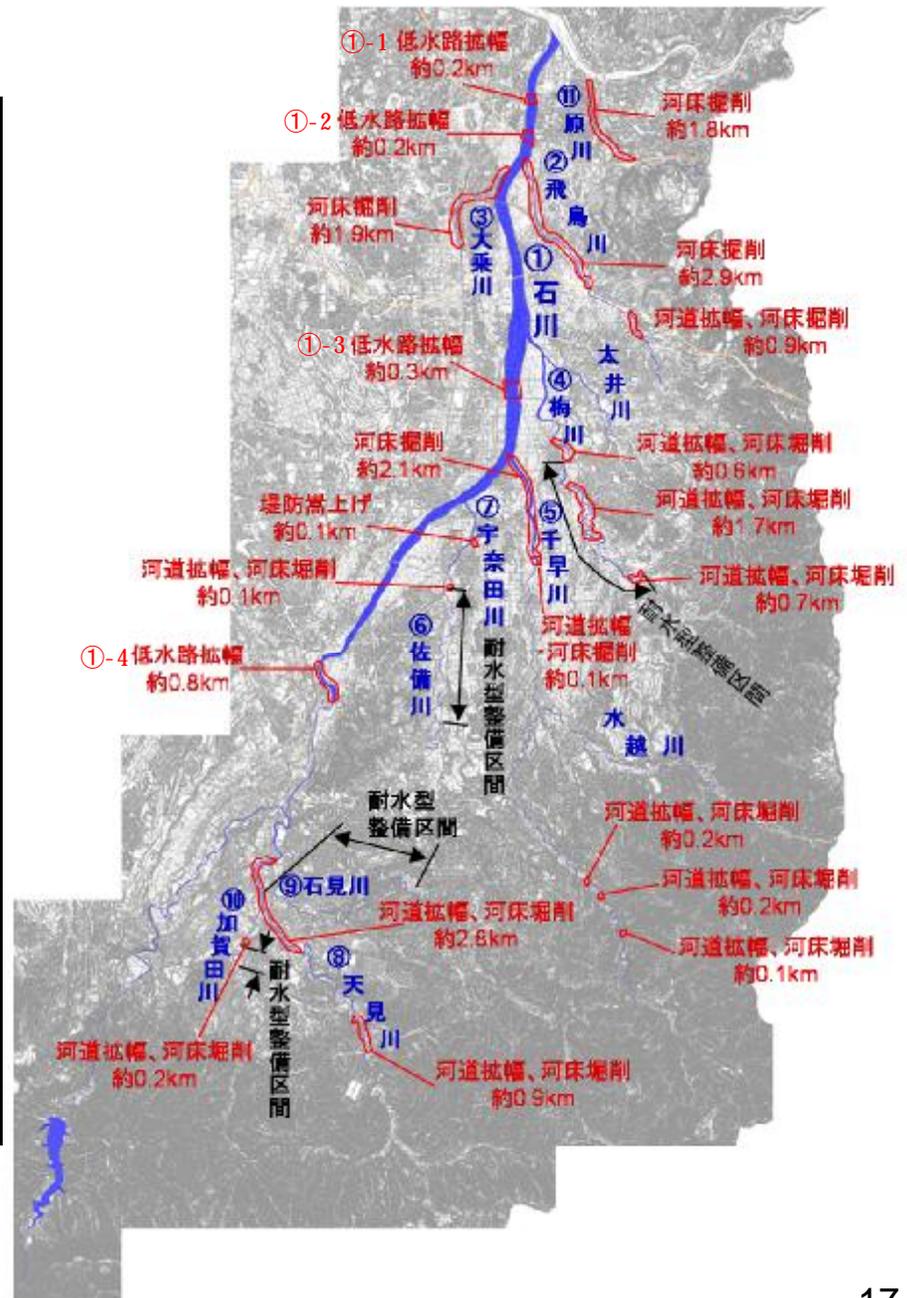
計画対象期間

Ⅰ 計画策定から概ね30年

③ これからの石川ブロックでの取り組みについて

洪水対策

河川名	整備対象区間	整備延長
①石川	①-1 玉手橋下流～玉手橋上流(1.2km～1.4km) ①-2 松井井堰～西名阪道上流(2.0km～2.2km) ①-3 河南橋上流～喜志大橋下流(6.9km～7.2km) ①-4 伏見堂橋上流～千代田橋下流(13.4km～14.2km)	約 1.50km
②飛鳥川	石川合流点～近鉄南大阪線橋梁(0.0km～2.9km) 松本橋～春日橋下流(3.6km～4.5km)	約 3.80km
③大乘川	石川合流点～近鉄長野線橋梁下流(0.0km～1.9km)	約 1.90km
④梅川	中之橋下流～大宝橋上流(2.4km～3.0km) 新梅川橋～寺田橋上流(3.6km～5.3km) 和田橋～一級起点(6.4km～7.1km)	約 3.00km
⑤千早川	石川合流点～下柳橋下流(0.0km～2.2km) 上東阪橋下流～千早赤阪村東阪地先(9.5km～11.3km)(局所改修)	約 2.70km
⑥佐備川	三中橋～三中橋上流(1.8km～1.9km) 三中橋上流～本橋下流(1.9km～4.2km)	約 0.10km 約 2.30km
⑦宇奈田川	宇奈田川橋上流(0.1km～0.2km)	約 0.10km
⑧天見川	南海高野線橋梁下流～美加の橋下流(1.0km～3.8km) 高橋～清瀬橋(6.2km～7.1km)	約 3.70km
⑨石見川	天見川合流点～南大門橋(0.0km～4.6km)	約 4.60km
⑩加賀田川	加賀田橋上流(0.4km～0.6km) 加賀田橋上流～矢伏橋(0.6km～1.5km)	約 0.20km 約 0.90km
⑪原川	原川橋～小松橋上流(0.0km～1.8km)	約 1.80km



耐水型整備区間:「人命を守ることを最優先とする基本的な理念」のもと、中流部より上流部において優先して治水対策を講じる必要がある場合には、中流部と上流部を併せて『耐水型整備区間』と位置付け、浸水リスクが中流部など他の地域へ顕著に転嫁することがないように、**部分的改修、さらには流出抑制、耐水型都市づくりなどあらゆる手段を組み合わせ、効果的かつ効率的な浸水リスクの低減に取り組む**こととしています。

③ これからの石川ブロックでの取組みについて

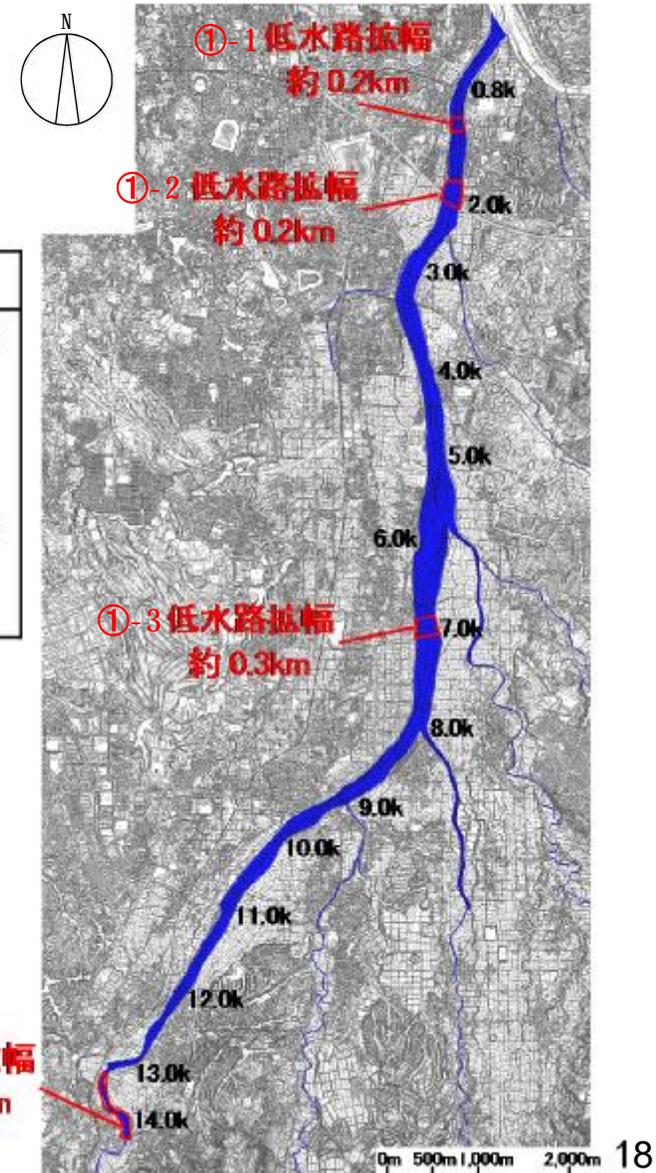
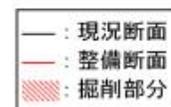
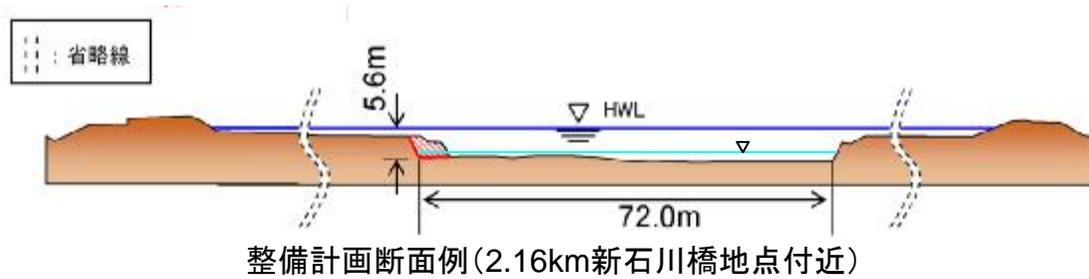
河川整備の内容

①石川

目標：石川では、時間雨量65ミリ程度（道明寺地点1,000m³/s規模）の降雨による洪水を対象に整備を行います。

整備対象区間と整備内容

河川名	整備対象区間	整備内容
①石川	①-1玉手橋下流～玉手橋上流 1.2km～1.4Km	河道拡幅(低水路拡幅)により流下能力を確保します。河道改修の際には、高水敷の植生や石川河川公園の河川空間利用への影響を極力小さくするよう配慮します。 河道改修の際には、河岸やみお筋の保全、周囲の景観との調和に配慮し、上下流生物移動の連続性の確保に努めます。
	①-2松井井堰～西名阪道上流 2.0km～2.2km	
	①-3河南橋上流～喜志大橋下流 6.9km～7.2km	
	①-4伏見堂橋上流～千代田橋下流 13.4km～14.2km	



③ これからの石川ブロックでの取り組みについて

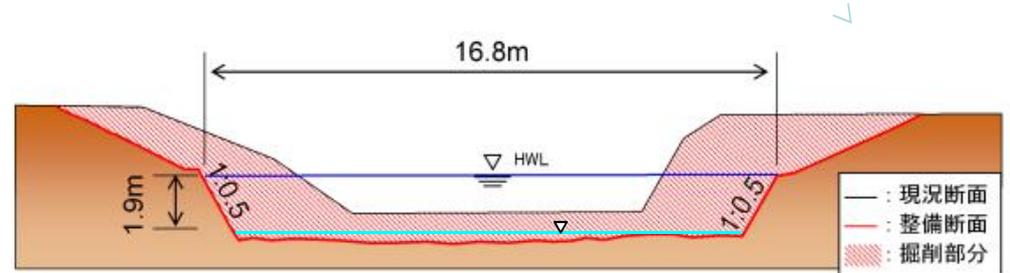
河川整備の内容

② 飛鳥川

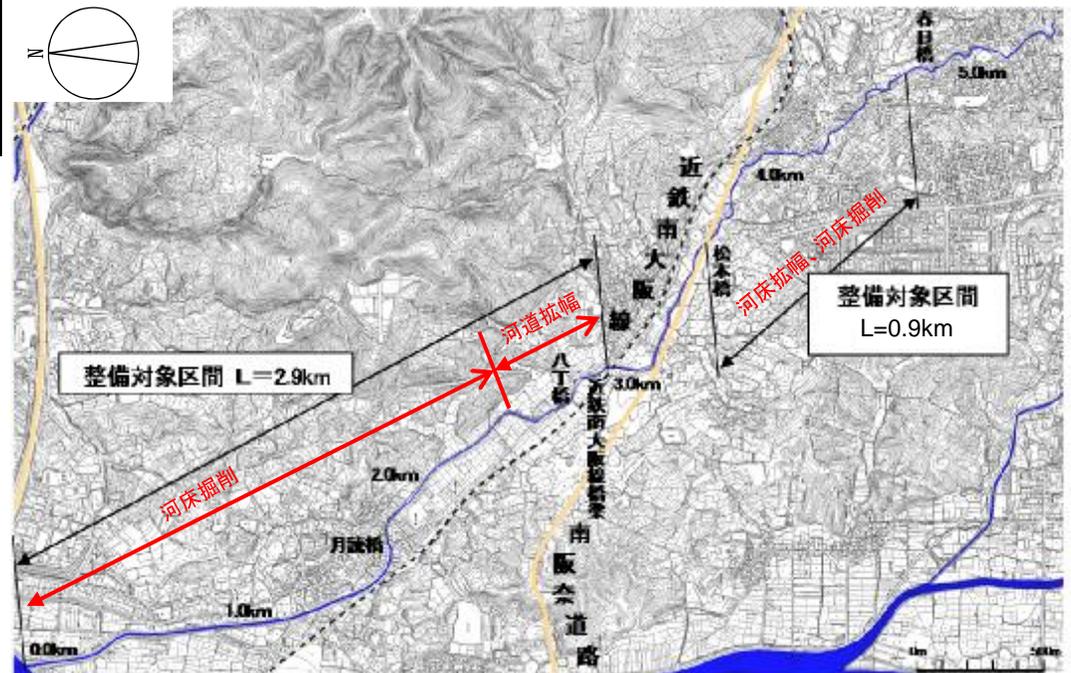
目標：飛鳥川では、時間雨量65ミリ程度の降雨による洪水を対象に整備を行います。

整備対象区間と整備内容

河川名	整備対象区間	整備内容
② 飛鳥川	石川合流点 ～近鉄南大阪線橋梁 0.0km～2.9km 松本橋～春日橋下流 3.6km～4.5km	河道拡幅及び河床掘削により流下能力を確保します。河道改修の際には、河岸やみお筋の保全、周囲の景観との調和に配慮し、上下流生物移動の連続性の確保に努めます。



整備計画断面例(2.6km付近)



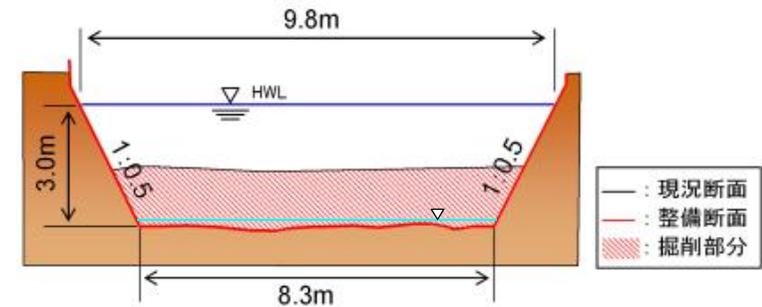
整備対象区間平面図

③ これからの石川ブロックでの取組みについて

河川整備の内容

③大乗川

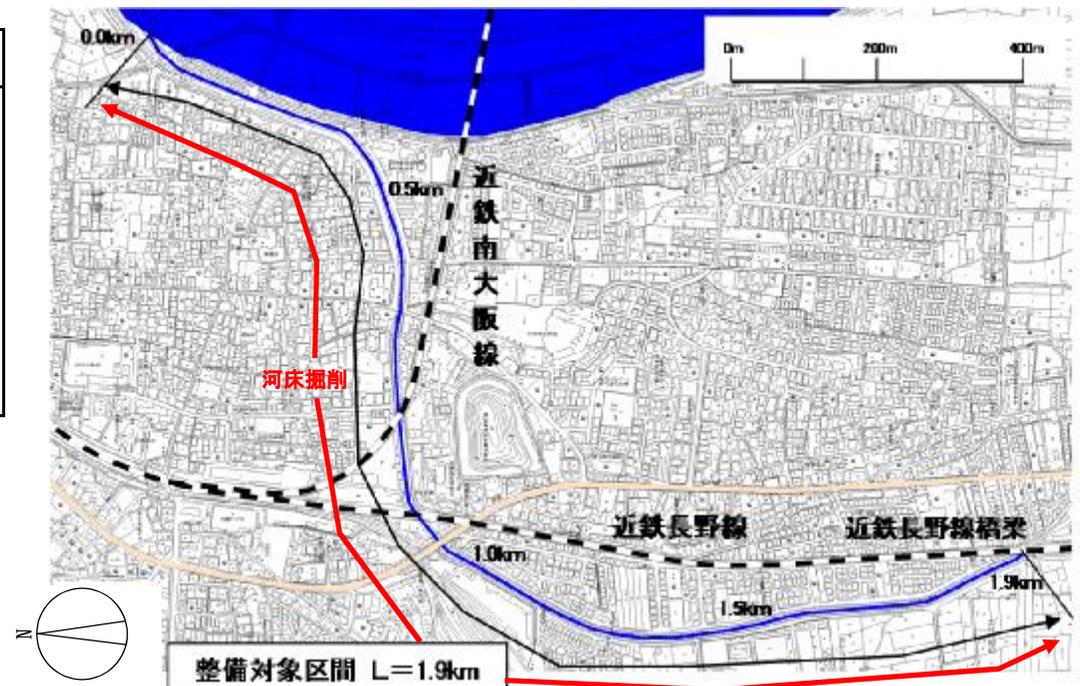
目標：大乗川では、時間雨量50ミリ程度の降雨による洪水を対象に整備を行います。



整備計画断面例(1.6km付近)

整備対象区間と整備内容

河川名	整備対象区間	整備内容
③大乗川	石川合流点 ～近鉄長野線橋梁 下流 0.0km～1.9km	河床掘削により流下能力を確保し、併せて河川に流入する水路の背水対策を実施します。河道改修の際には、河岸やみお筋の保全、周囲の景観との調和に配慮し、上下流生物移動の連続性の確保に努めます。



整備対象区間平面図

③ これからの石川ブロックでの取組みについて

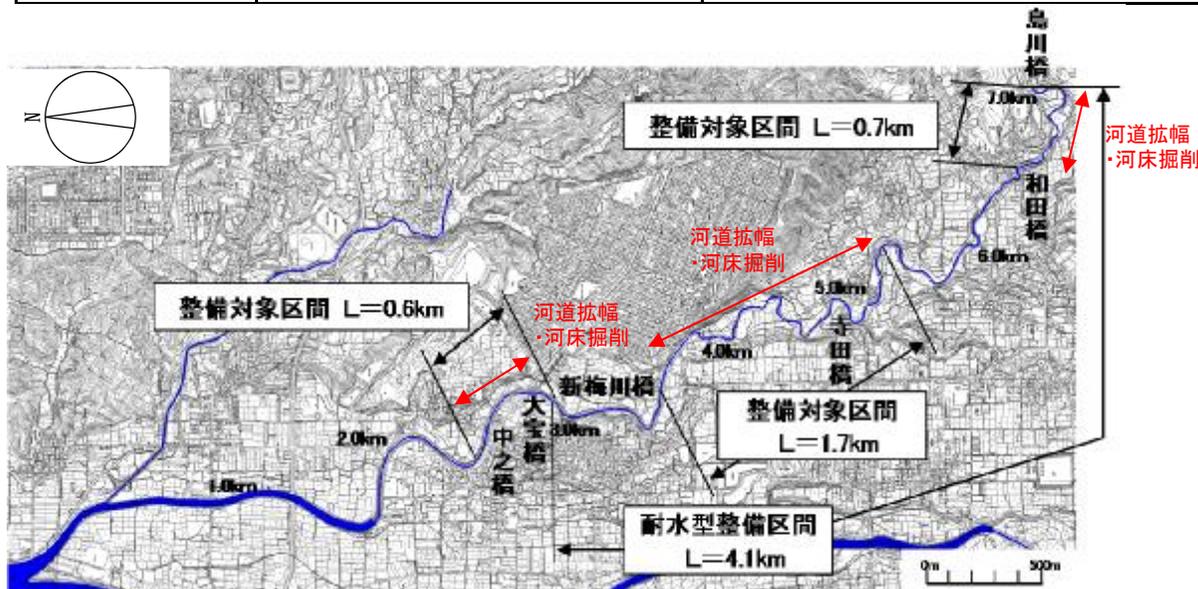
河川整備の内容

④梅川

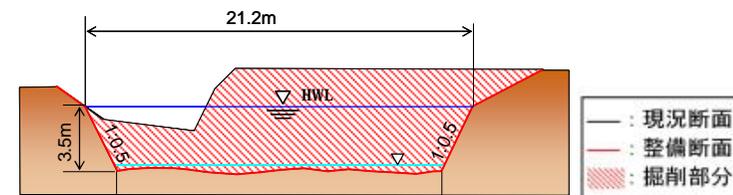
目標：梅川では、時間雨量50ミリ程度の降雨による洪水を対象に整備を行います。

整備対象区間と整備内容

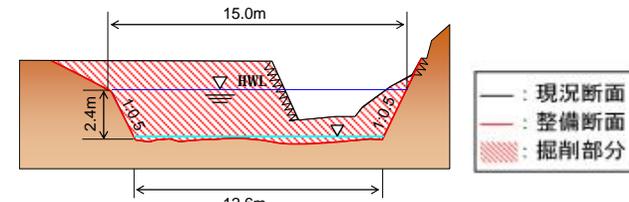
河川名	整備対象区間	整備内容
梅川	中之橋下流～大宝橋上流 (2.4km～3.0km)	河道拡幅及び河床掘削により流下能力を確保します。 河道改修の際には、河岸やみお筋の保全、周囲の景観との調和に配慮し、上下流生物移動の連続性の確保に努めます。
	新梅川橋～寺田橋上流 (3.6km～5.3km) 和田橋～島川橋 (6.4km～7.1km)	河道拡幅及び河床掘削により流下能力を確保します。また、耐水型整備区間として、流域町と連携し、土地利用誘導および浸水が想定される土地の居住者等に対して洪水氾濫・浸水の危険性を周知し、自主的な避難行動を促す等、ソフト対策に取り組みます。 なお、河道改修の際には、河岸やみお筋の保全、周囲の景観との調和に配慮し、上下流生物移動の連続性の確保に努めます。なお、河道改修区間については、土砂移動の傾向を確認した後、具体的に設定します。



整備対象区間平面図



4.3km付近 整備断面例



6.7km付近 整備断面例

整備断面例（4.3km付近,6.7km付近）

③ これからの石川ブロックでの取組みについて

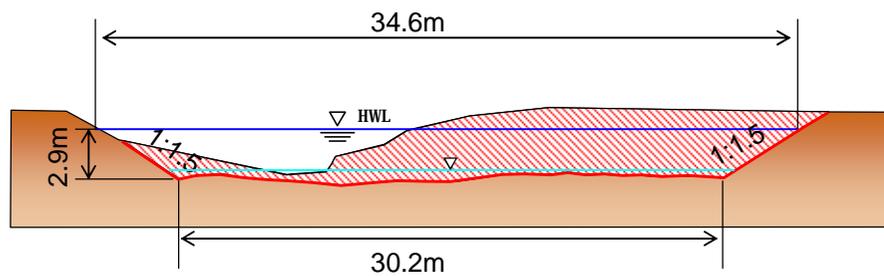
河川整備の内容

⑤千早川

目標：千早川では、時間雨量80ミリ程度の降雨による洪水を対象に整備を行います。

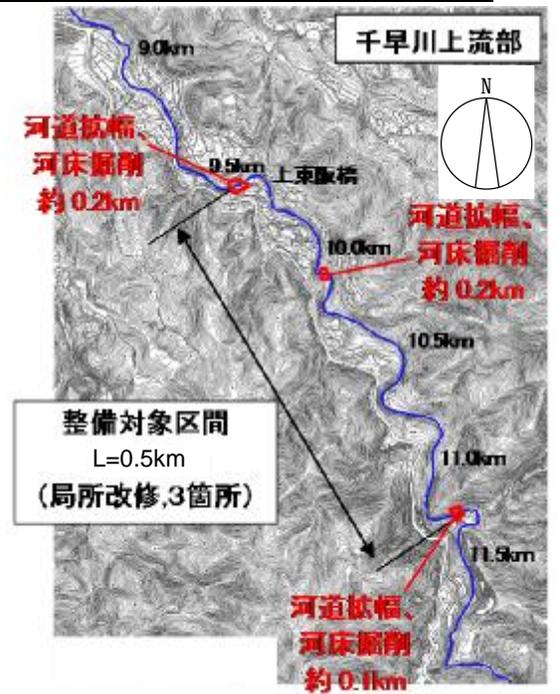
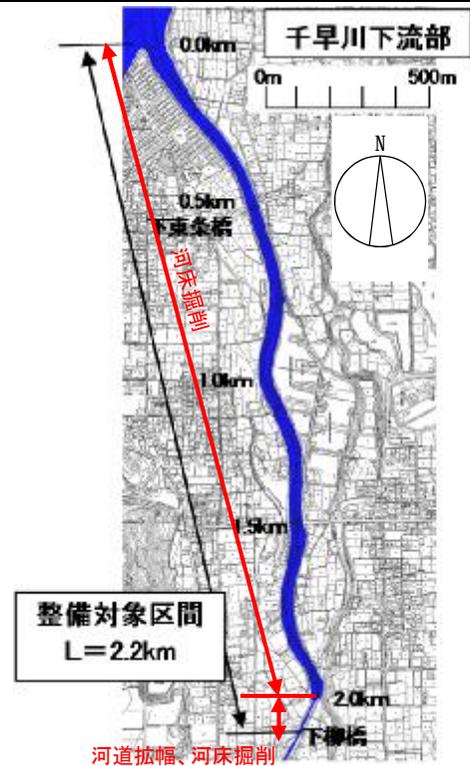
整備対象区間と整備内容

河川名	整備対象区間	整備内容
千早川	石川合流点～下柳橋下流 0.0km～2.2km 上東阪橋下流～千早赤阪村東阪地先 9.5km～11.3km(局所改修, 3箇所)	河道拡幅及び河床掘削により流下能力を確保します。 河道改修の際には、河岸やみお筋の保全、周囲の景観との調和に配慮し、上下流生物移動の連続性の確保に努めます。



整備断面例(2.2km付近)

- : 現況断面
- : 整備断面
- ▨ : 掘削部分



整備対象区間平面図

③ これからの石川ブロックでの取組みについて

河川整備の内容

⑥佐備川

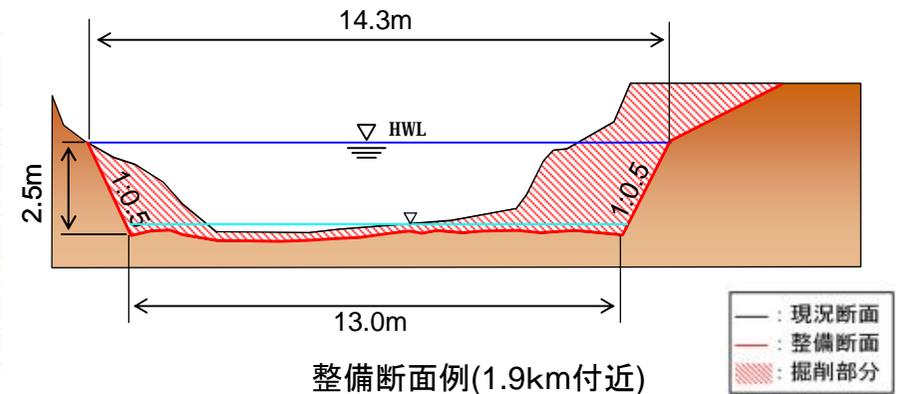
目標：佐備川では、時間雨量50ミリ程度の降雨による洪水を対象に整備を行います。

整備対象区間と整備内容

河川名	整備対象区間	整備内容
佐備川	三中橋～三中橋上流 (1.8km～1.9km)	河道拡幅及び河床掘削により流下能力を確保します。 河道改修の際には、河岸やみお筋の保全、周囲の景観との調和に配慮し、上下流生物移動の連続性の確保に努めます。
	三中橋上流～本橋下流 (1.9km～4.2km)	耐水型整備区間として、流域市と連携し、土地利用誘導および浸水が想定される土地の居住者等に対して洪水氾濫・浸水の危険性を周知し、自主的な避難行動を促す等、ソフト対策に取り組めます。



整備対象区間平面図



整備断面例(1.9km付近)

③ これからの石川ブロックでの取組みについて

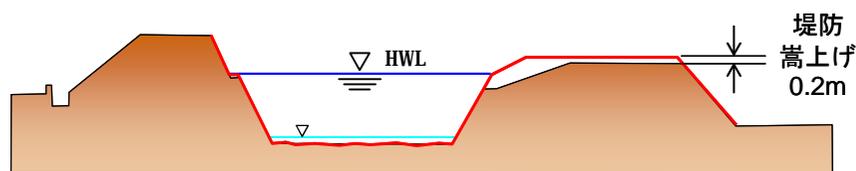
河川整備の内容

⑦宇奈田川

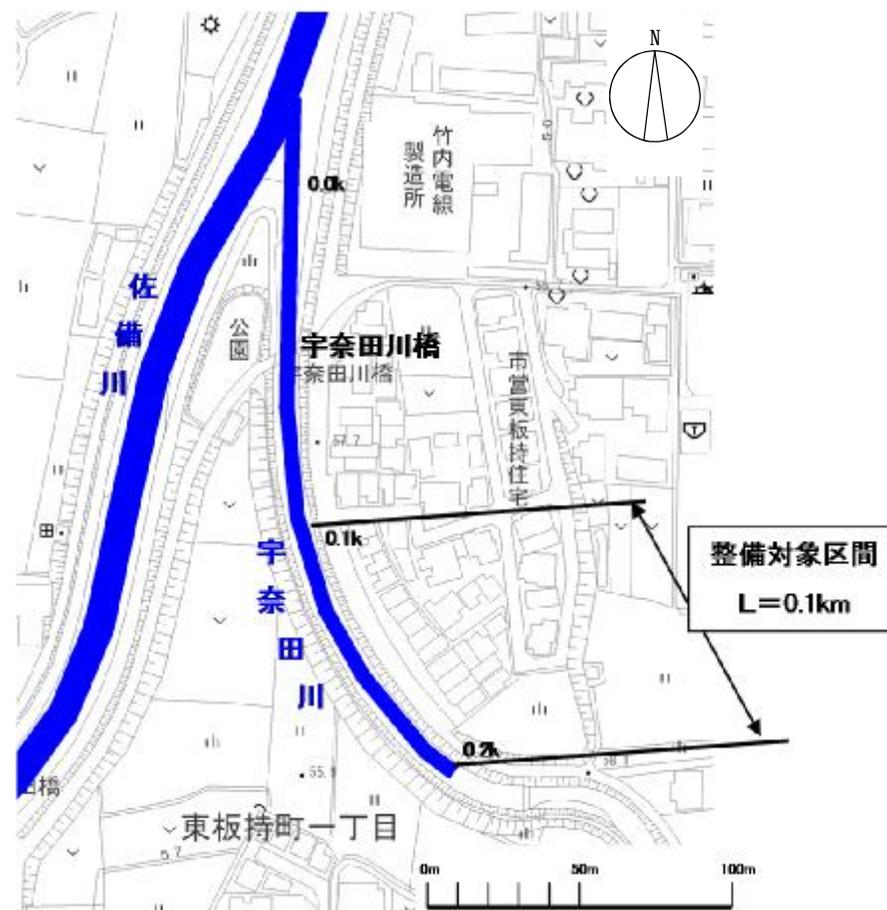
目標：宇奈田川では、時間雨量80ミリ程度の降雨による洪水を対象に整備を行います。

整備対象区間と整備内容

河川名	整備対象区間	整備内容
宇奈田川	宇奈田川橋上流 (0.1km~0.2km)	堤防嵩上げにより流下能力を確保します。



整備断面例(0.2km付近)



整備対象区間平面図

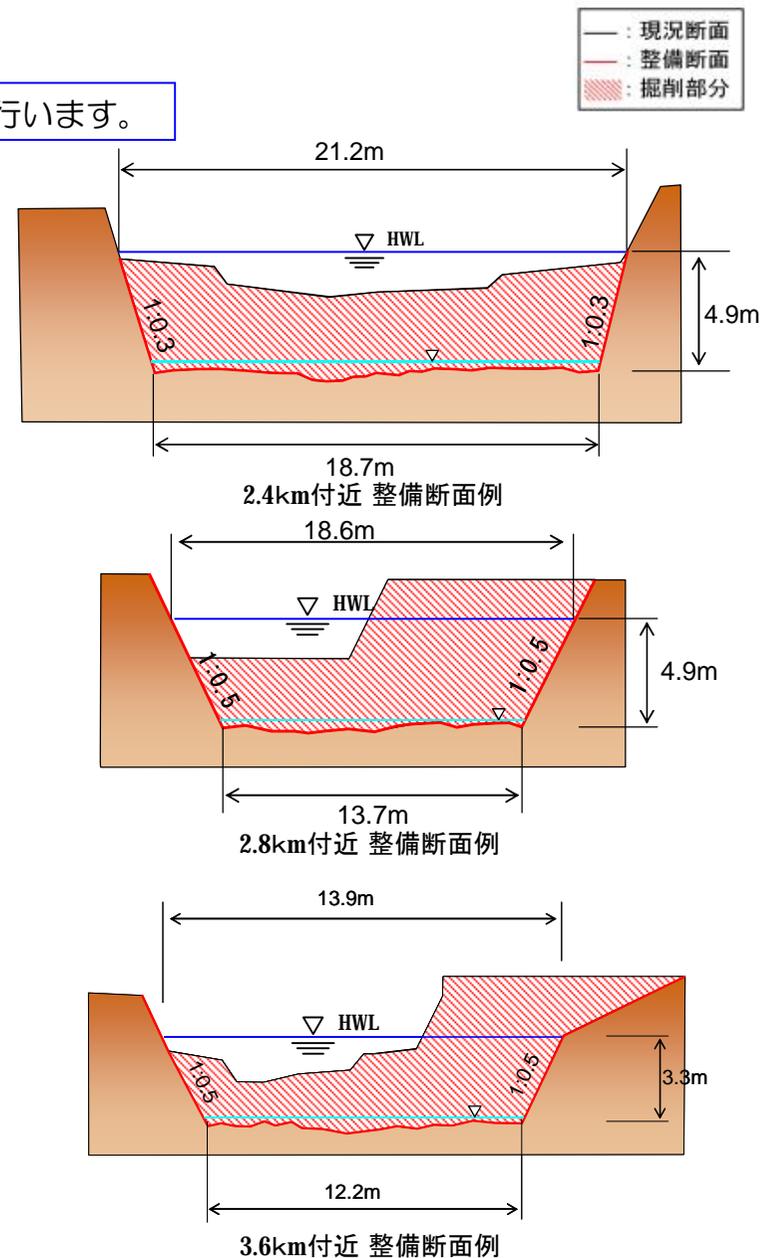
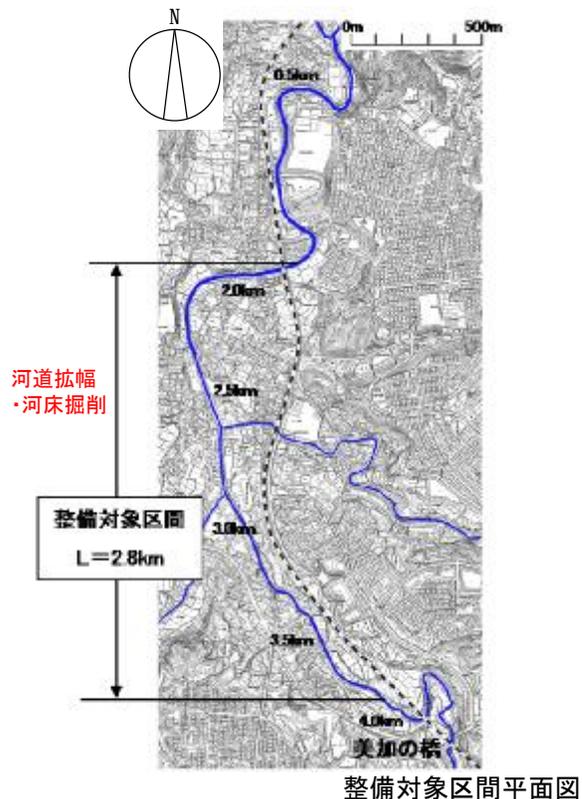
③ これからの石川ブロックでの取組みについて

河川整備の内容

⑧天見川 目標：天見川では、時間雨量50ミリ程度の降雨による洪水を対象に整備を行います。

整備区間と整備内容

河川名	整備対象区間	整備内容
天見川	南海高野線橋梁下流 ～美加の橋下流 (1.0km～3.8km) 高橋～清瀬橋 (6.2km～7.1km)	河道拡幅及び河床掘削により流下能力を確保します。 河道改修の際には、河岸やみお筋の保全、周囲の景観との調和に配慮し、上下流の連続性の確保に努めます。



整備断面例 (2.4km付近, 2.8km付近, 3.6km付近) 25

③ これからの石川ブロックでの取組みについて

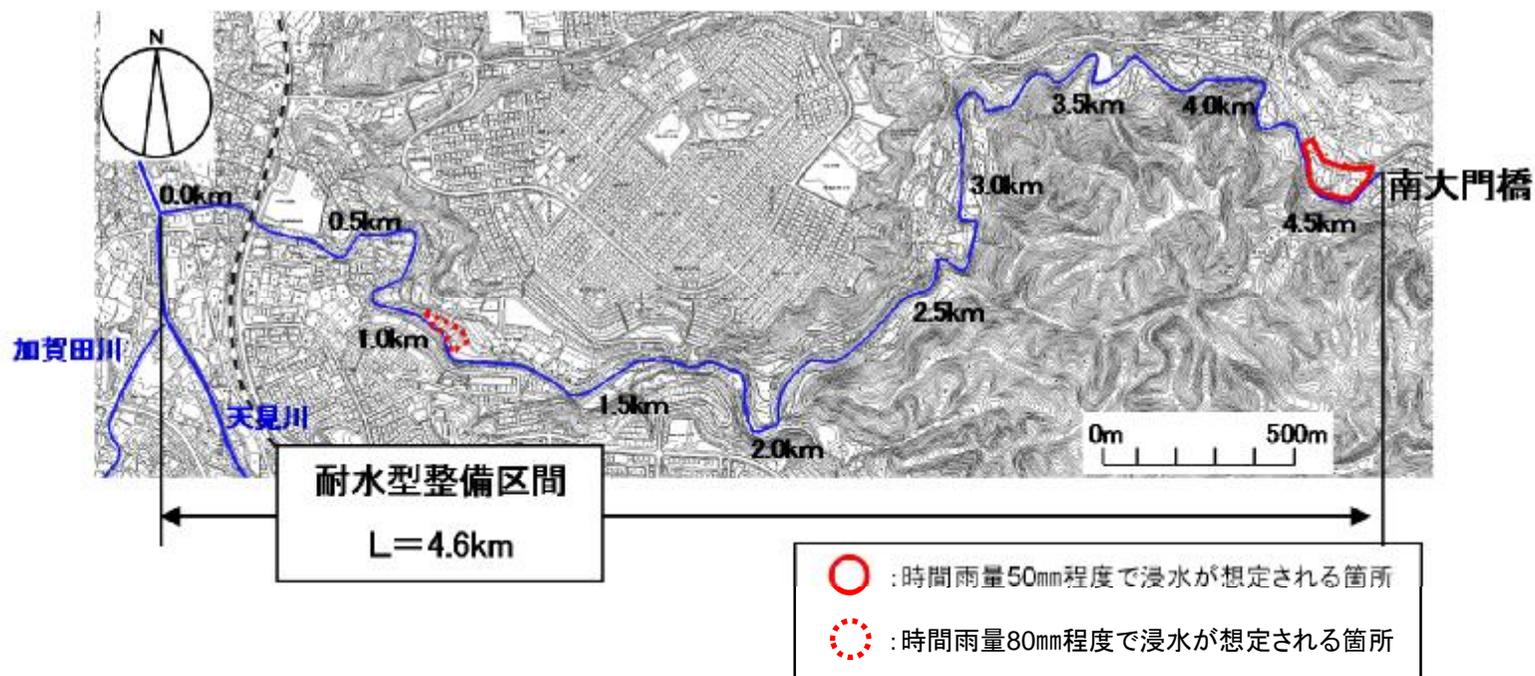
河川整備の内容

◎石見川

目標：石見川では、時間雨量65ミリ程度の降雨による洪水を対象に整備を行います。

整備区間と整備内容

河川名	整備対象区間	整備内容
石見川	天見川合流点～南大門橋 0.0km～4.6km	耐水型整備区間として、流域市と連携し、土地利用誘導および浸水が想定される土地の居住者等に対して洪水氾濫・浸水の危険性を周知し、自主的な避難行動を促す等、ソフト対策に取り組みます。



整備対象区間平面図

③ これからの石川ブロックでの取組みについて

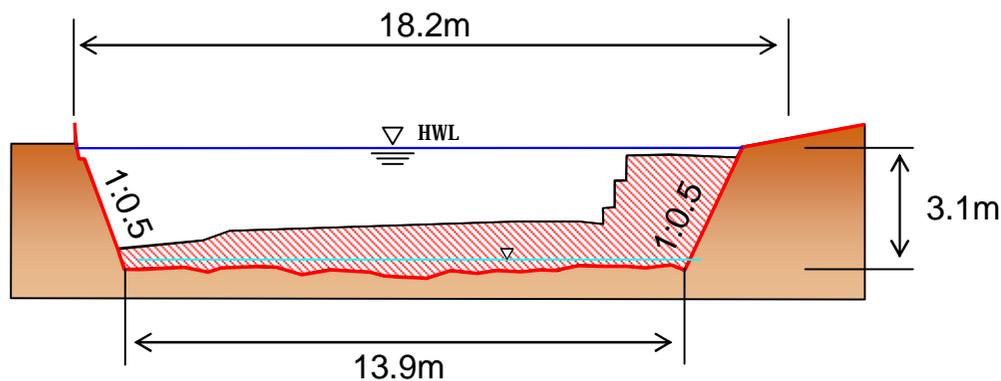
河川整備の内容

⑩加賀田川

目標：加賀田川では、時間雨量80ミリ程度の降雨による洪水を対象に整備を行います。

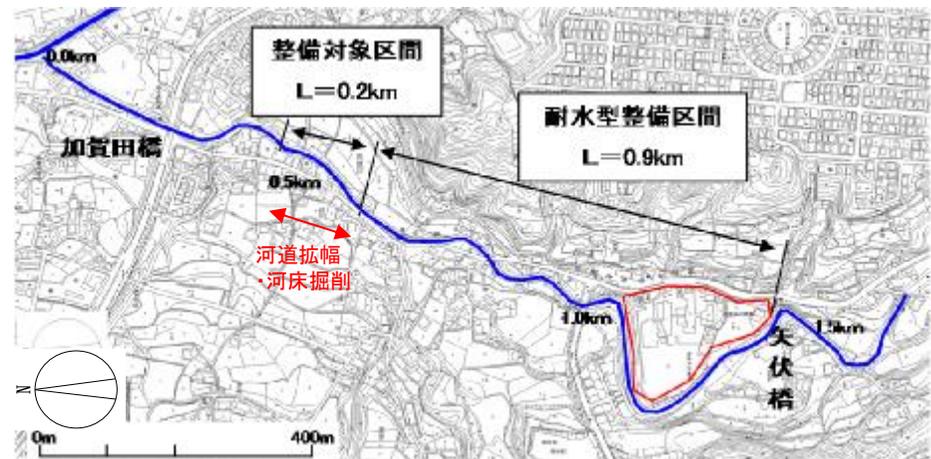
整備対象区間と整備内容

河川名	整備対象区間	整備内容
加賀田川	加賀田橋上流 (0.4km~0.6km)	河道拡幅及び河床掘削により流下能力を確保します。 河道改修の際には、河岸やみお筋の保全、周囲の景観との調和に配慮し、上下流生物移動の連続性の確保に努めます。
	加賀田橋上流 ~矢伏橋 (0.6km~1.5km)	耐水型整備区間として、流域市と連携し、土地利用誘導および浸水が想定される土地の居住者等に対して洪水氾濫・浸水の危険性を周知し、自主的な避難行動を促す等、ソフト対策に取り組めます。



整備断面例(0.4km付近)

- : 現況断面
- : 整備断面
- : 掘削部分



○ : 時間雨量80mm程度で浸水が想定される箇所

整備対象区間平面図

③ これからの石川ブロックでの取組みについて

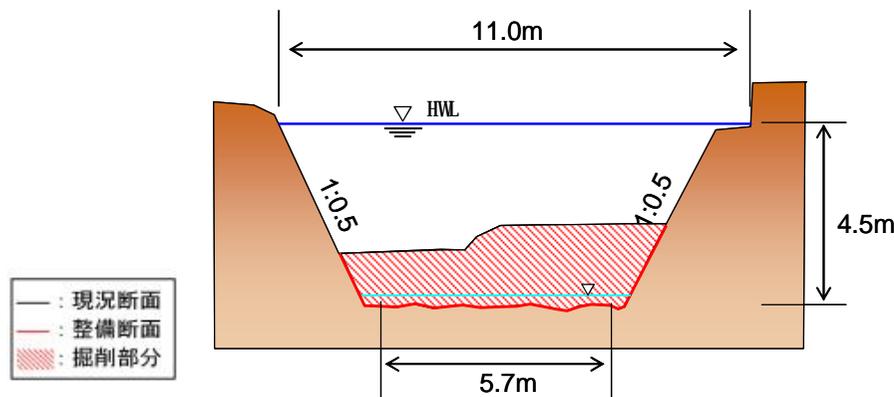
河川整備の内容

⑪原川

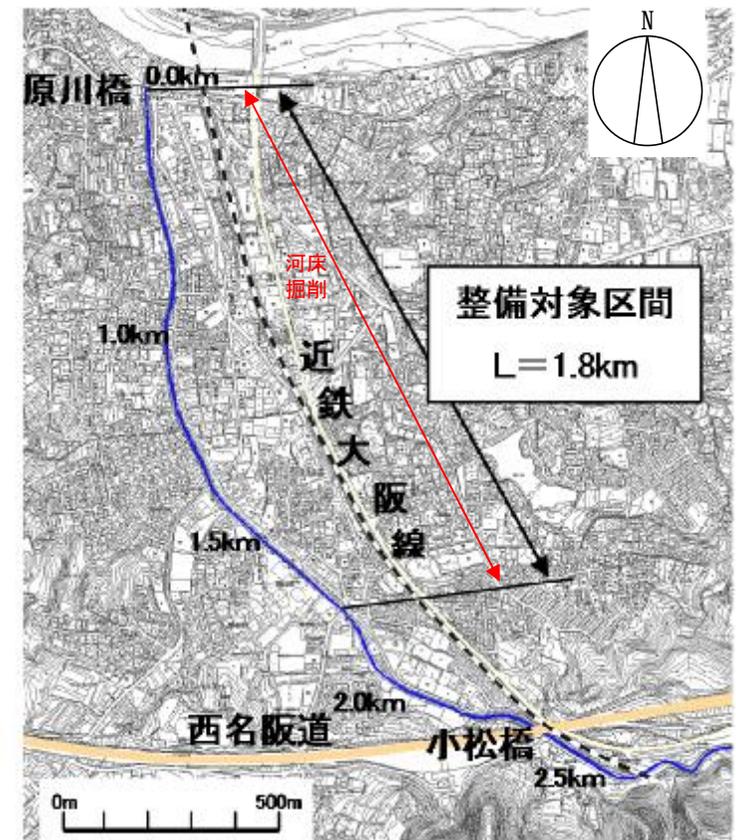
目標：原川では、時間雨量80ミリ程度の降雨による洪水を対象に整備を行います。

整備対象区間と整備内容

河川名	整備対象区間	整備内容
原川	原川橋 ～小松橋下流 (0.0km～1.8km)	河床掘削により流下能力を確保します。 河道改修の際には、河岸やみお筋の保全、周囲の 景観との調和に配慮し、上下流生物移動の連続性 の確保に努めます。



整備計画断面例(1.5km付近)



整備対象区間平面図

③ これからの石川ブロックでの取り組みについて

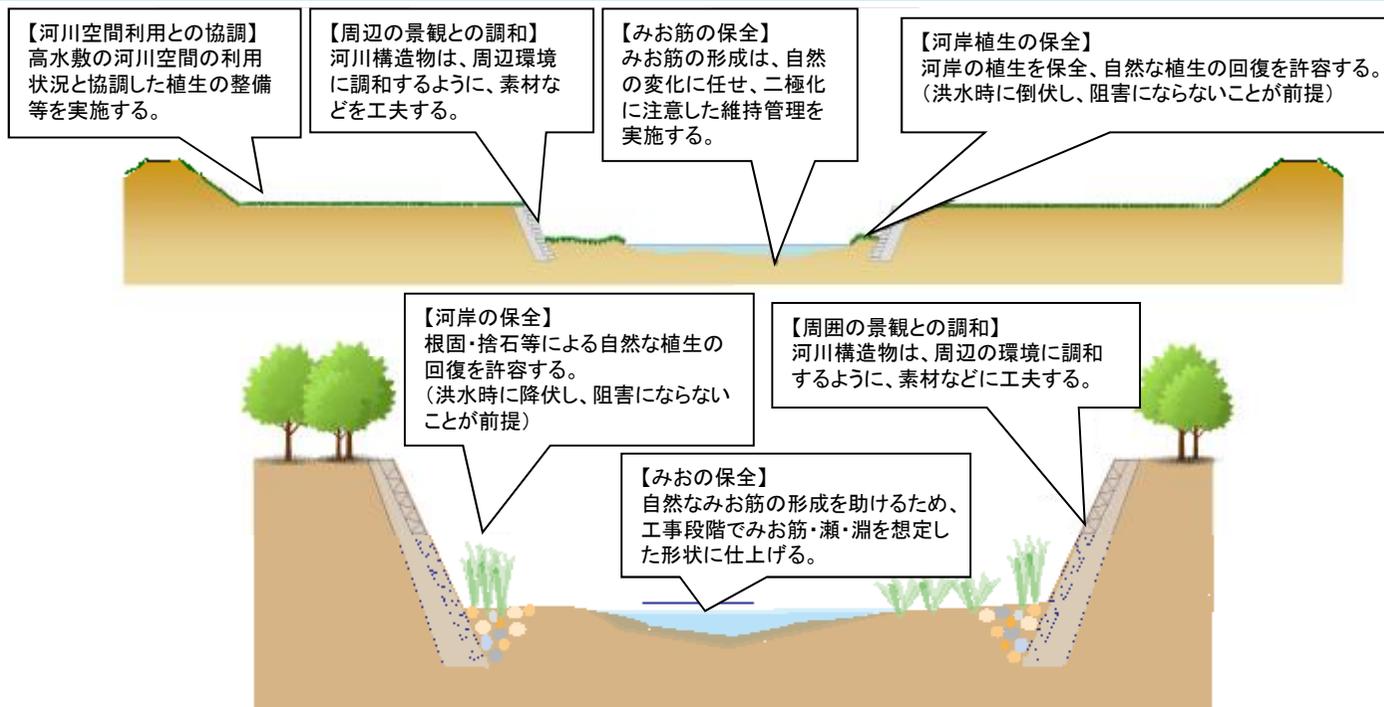
河川整備計画の目標

河川の適正な利用及び流水の正常な機能の維持

Ⅰ 石川ブロックの既得水利権としては、水道用水の許可水利権、農業用水の慣行水利権があります。河川の適正な利用および流水の正常な機能維持に関しては、適正かつ効率的な水利用を目指します。

河川環境の整備と保全

- 魚類や水生生物の生育環境に配慮した河川環境の整備を目指します。
- 石川ブロックの河川環境の整備と保全に関しては、それぞれの地域が持つ歴史・文化・景観や多様な自然環境に配慮し、各地域の特徴を活かした河川整備、維持管理を行うとともに、大和川水環境改善計画に基づき、水環境の改善を目指します。



多自然川づくりイメージ図(上図:石川, 下図:支川)

③ これからの石川ブロックでの取り組みについて

河川の適正な利用及び流水の正常な機能の維持の内容

- Ⅰ 流水の正常な機能を維持し適正な河川管理を行うため、継続的な雨量、水位の観測データの蓄積と分析による水量の状況把握を行います。

河川環境の整備と保全の内容

- Ⅰ 河川環境の整備にあたっては、地域が主体となり、地域特性や生物の生息環境に応じた川づくりを推進し、多様な生物の生息・生育環境、景観等の保全、水質の維持に努めます。
- Ⅰ 取水堰や落差工等の河川横断構造物の利用実態の把握に努め、利用実態のない取水堰の撤去や落差工の改善と併せて水域の連続性の確保に努めます。
- Ⅰ 石川で設置済みの魚道については、適切な維持管理に努め、魚道が未設置の取水堰については、実現性、必要性、流域市町や地域住民の意見等より、総合的に魚道設置の検討を行います。また、石川の各支川については、水生生物の生息状況の確認を行います。

水質の改善の内容

- Ⅰ 環境基準を満足、多様な生物の生息・生育環境を保全するため、流域市町村の環境部局における行政指導や下水道施設等による水質改善に努めます。
また、地域住民や学校、NPOと連携し、河川への生活排水による河川への負担軽減に向けた環境教育・学習の推進及び啓発活動等を進めることにより水質改善に努めます。

③ これからの石川ブロックでの取り組みについて

河川の維持管理

- Ⅰ 河川管理施設 ⇒ 堤防及び護岸等の河川管理施設の機能や河川の所定の流下能力を確保するため、施設の定期点検や必要に応じた緊急点検を実施し、構造物の損傷、劣化状況の把握に努め、補修箇所の優先順位を定めて計画的に補修を行います。
- Ⅰ 土砂の堆積・植生の繁茂等 ⇒ 状況を定期的に調査し、水域と陸域の二極化の状況や阻害率の高い区間を把握するとともに、地先の危険度等を考慮して計画的に土砂掘削等の対策を行います。
- Ⅰ 河床低下 ⇒ 水衝部等の局所洗掘が護岸崩壊に繋がることから、現地状況に応じ、捨石等による覆土を行う等、適切な工法により対策を実施します。
- Ⅰ 許可工作物 ⇒ 施設管理者に対して河川管理施設と同等の点検・補修を行わせるなど、河川の疎通能力を低下させないよう適正な維持管理を指導します。
- Ⅰ 河川空間 ⇒ 様々な地域団体の活動や教育機関と連携し、河川美化活動や環境学習の促進等に努めていきます。
不法投棄等により放置されたゴミに対しては、地域住民、ボランティア団体、自治体等と協働で河川美化活動を行います。
急激な増水に対する注意喚起看板設置等の安全対策や利用ルールを施すことで、安全に利用できる環境づくりを目指します。



河川巡視点検



大和川・石川クリーン作戦

③ これからの石川ブロックでの取り組みについて

地域や関係機関との連携

- Ⅰ 流域内に多数点在するため池の雨水貯留機能の保全やため池管理者に対して大雨に備えるための水位低下を呼びかけるなど、治水へのため池の活用手法を検討していきます。
- Ⅰ 地域住民に対して各戸貯留施設の設置により、流出量を低減させるなどの意識を向上させる啓発活動を進めていきます。
- Ⅰ 古くからため池や河川・水路及び取水堰を活用した水利用が行われてきた歴史や文化をふまえ、上下流の連続性の観点から取水堰の運用や構造、水利用について農業関係機関と連携し、水環境の一層の向上に向けた連携に努めます。
- Ⅰ より良い水辺空間を維持し、良好な姿で継承していくため、流域住民の理解を基に、河川愛護思想の普及を図り、NPO や市民団体等との協働に努めます。
- Ⅰ 河川の維持管理・環境整備に関して、地域住民と情報を共有し、連携・協働していくため、「水辺のつどい」や「ワークショップ」を通じ、川への親しみや美化意識等の向上、コミュニケーションを図るなど、地元市町村の協力のもと、地域住民が主体となり南河内の歴史的・文化的資産を融合した、よりよい川的环境づくりに努めます。



ワークショップの開催



市民団体の活動

③ これからの石川ブロックでの取り組みについて

皆様のご意見をおねがいします

石川ブロックの各河川に関する河川整備計画(原案)について詳しい内容について知りたい方

(1)大阪府都市整備部河川室のホームページに掲載しています。

(アドレス http://www.pref.osaka.jp/s_kasen/)

(2)以下の場所で資料を備え付けています。

大阪府府政情報センター(大阪府庁本館1階)

大阪府都市整備部河川室(大阪府庁別館4階)

大阪府富田林土木事務所(南河内府民センタービル3階)

大阪府八尾土木事務所(中河内府民センタービル2階)

大阪府営石川河川公園管理事務所

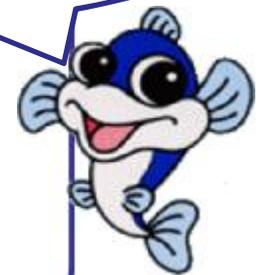
富田林市役所4階(水路耕地課)、河内長野市役所5階(公園河川課)、

羽曳野市役所別館4階(下水道建設課)、藤井寺市役所4階(道路水路課)、

柏原市役所別館2階(道路水路整備課)、河南町役場2階(地域整備課)、

太子町役場2階(地域整備グループ)、千早赤阪村役場1階(地域振興課)

閲覧と意見募集期間は、
6月2日(月)から
6月13日(金)まで



ご意見をいただける方

《郵送・FAXの場合》

〒584-0031

富田林市寿町2丁目6-1 南河内府民センタービル内

大阪府 富田林土木事務所 建設課 河川砂防グループ あて

FAX 072-125-6109

《電子メールの場合》

メールアドレス tondabayashi.doboku-g01@sbox.pref.osaka.lg.jp

いただいたご意見を踏まえ、
河川整備計画の検討を進
めてまいります。



(質疑・応答)

④ 洪水はん濫・浸水の危険性と地域での取組み

洪水はん濫・浸水の危険性の公表

様々な降雨により想定される地先の洪水はん濫や浸水の危険性を理解していただき、住民自らの地域の状況に応じた避難行動により洪水はん濫・浸水による被害の低減を目指します。

【具体的取組み】

- ①住民への現状の洪水はん濫・浸水による危険性の周知。
- ②住民が的確に判断し行動するために必要な情報の提供・伝達。
- ③住民自らが行動できる体制づくりと情報伝達や避難の訓練の実施。

洪水はん濫・浸水の危険性の周知

現況での洪水はん濫・浸水の危険性に対する地域住民の理解を促進するため、石川ブロックの各河川では平成24年12月に洪水リスク表示図を開示しています。

この表示図では、現況の河道で時間雨量50ミリ（1/10年）、65ミリ（1/30年）、80ミリ（1/100年）及び90ミリ（1/200年）降雨時の4パターン（発生しやすい大雨から想定を超える大雨まで）のはん濫シミュレーション結果を最大浸水深（7段階）と危険度（3段階）の2パターンで表示しています。

【開示方法】

大阪府都市整備部河川室のホームページに掲載

大阪府富田林土木事務所および各市町村役場にて縦覧

降雨の説明(イメージ)

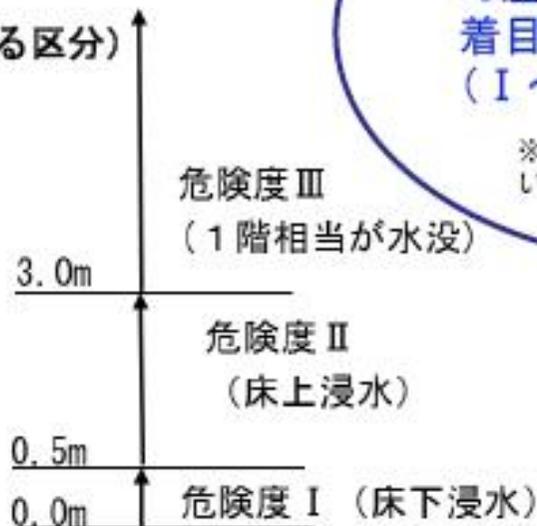
降雨確率	1/10	1/30	1/100	1/200
降雨規模	概ね50mm/hr	概ね65mm/hr	概ね80mm/hr	概ね90mm/hr
気象予報用語	非常に激しい雨		猛烈な雨	
人の受けるイメージ	滝のように降る(傘は全く役に立たない)		息苦しくなるような圧迫感がある	
災害発生状況	内水氾濫、地下街浸水、土砂災害		大規模な災害の発生	



④ 洪水はん濫・浸水の危険性と地域での取組み

地先の洪水はん濫・浸水による被害の区分

◆ 想定浸水区分 (水に浸かる深さによる区分)



現状の地先の河川はん濫・浸水による被害に着目し、3段階の危険度 (Ⅰ～Ⅲ) に区分します。

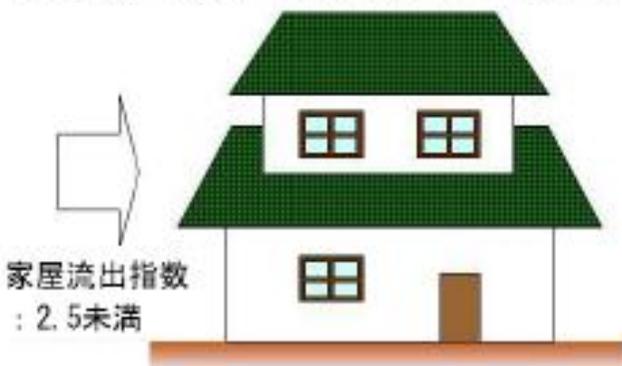
※地先とは、みなさんがお住まいの場所を指します。



洪水リスク図では、こんな表記です。

◆ 家屋流出指数による区分

(洪水の流れの強さによる区分)



凡例 (危険度)	
	危険度Ⅰ
	危険度Ⅱ
	危険度Ⅲ
×	破堤地点
×	溢水地点

※家屋流出指数とは、はん濫水の流速と水深によって決まる値で、はん濫水の流れが引き起こす力のことです。

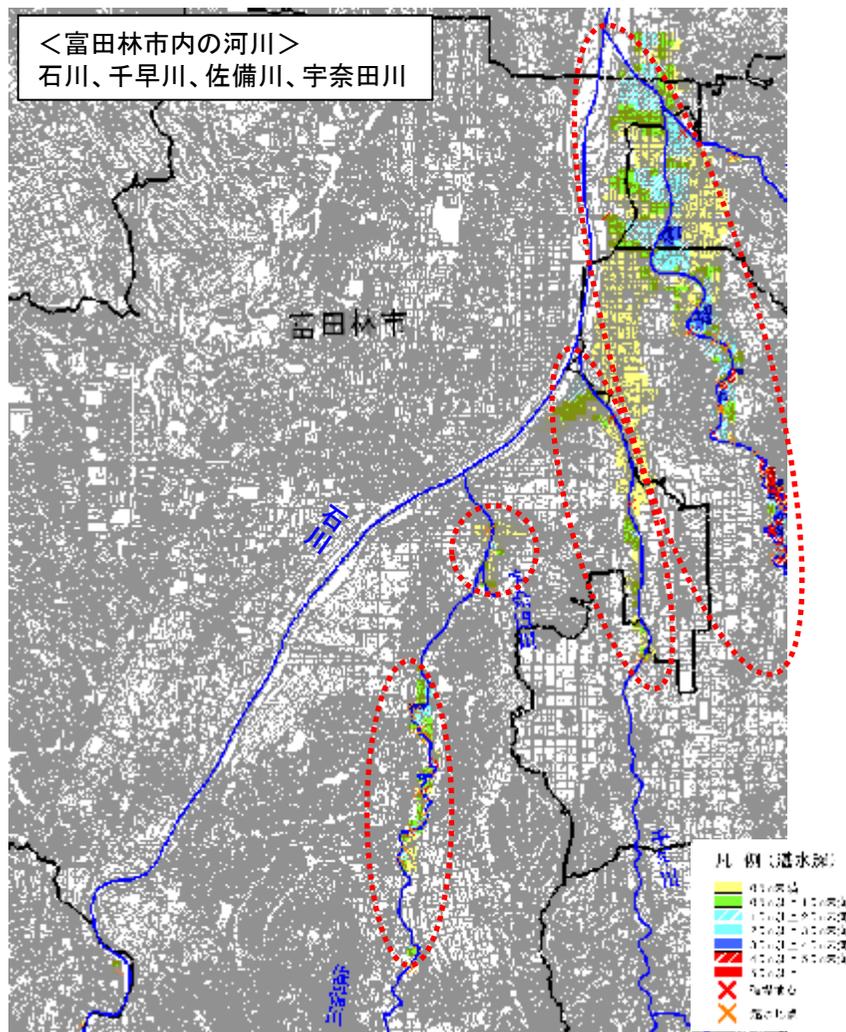
危険度Ⅲ (木造家屋が流出する危険性あり)

④ 洪水はん濫・浸水の危険性と地域での取組み

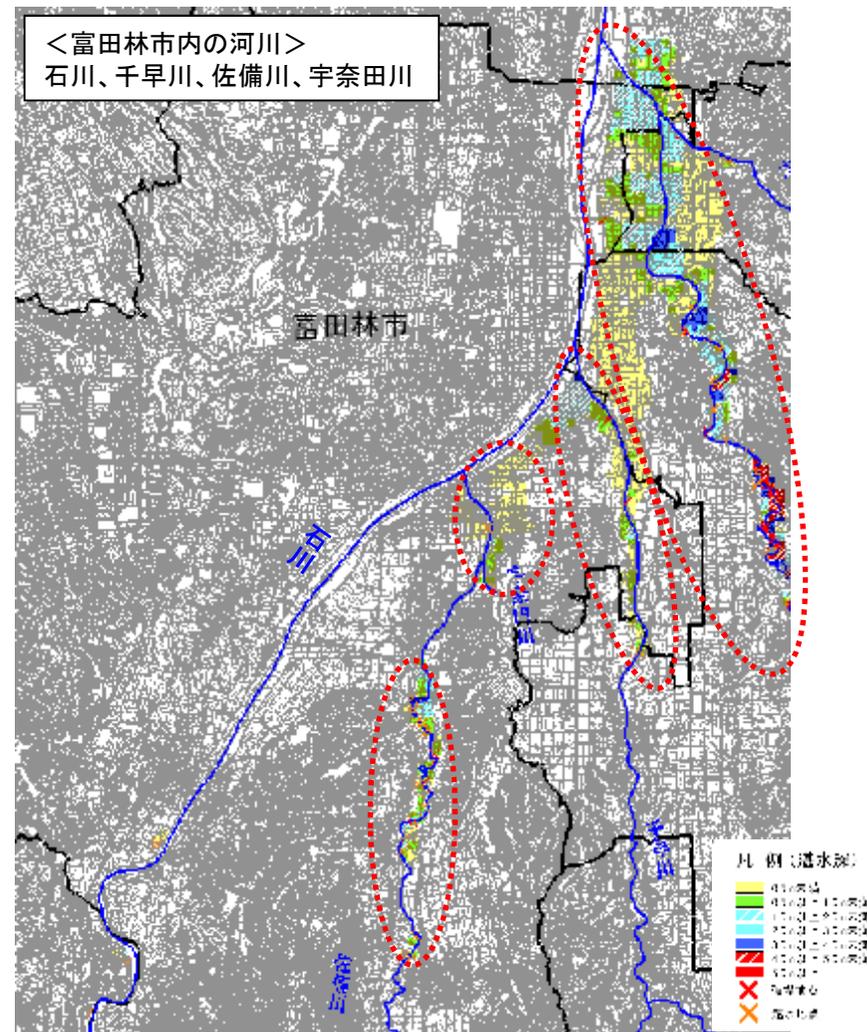
現況における洪水はん濫・浸水の危険性

現状の石川ブロックにおいて、はん濫シミュレーションを行なっています。ただし、はん濫シミュレーションには内水浸水を含んでいません。

現況 時間雨量80ミリ（100年に1度の確率降雨）



現況 時間雨量90ミリ（200年に1度の確率降雨）



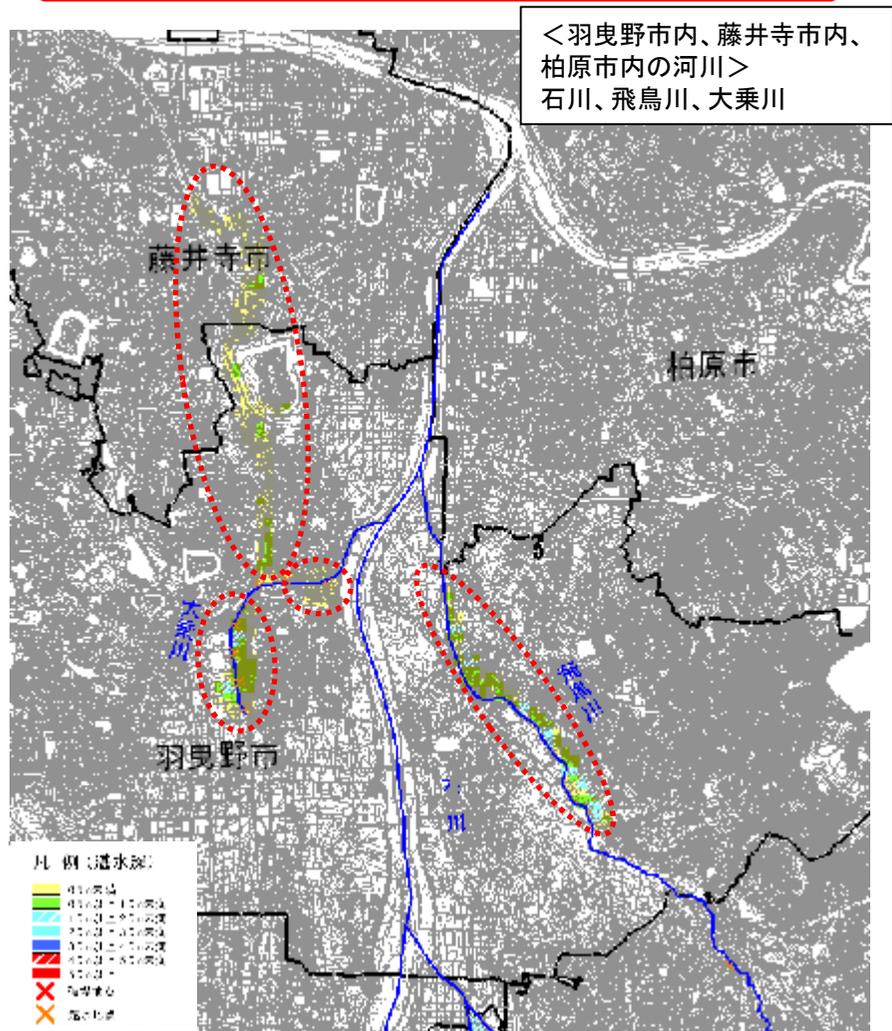
④ 洪水はん濫・浸水の危険性と地域での取組み

現況における洪水はん濫・浸水の危険性

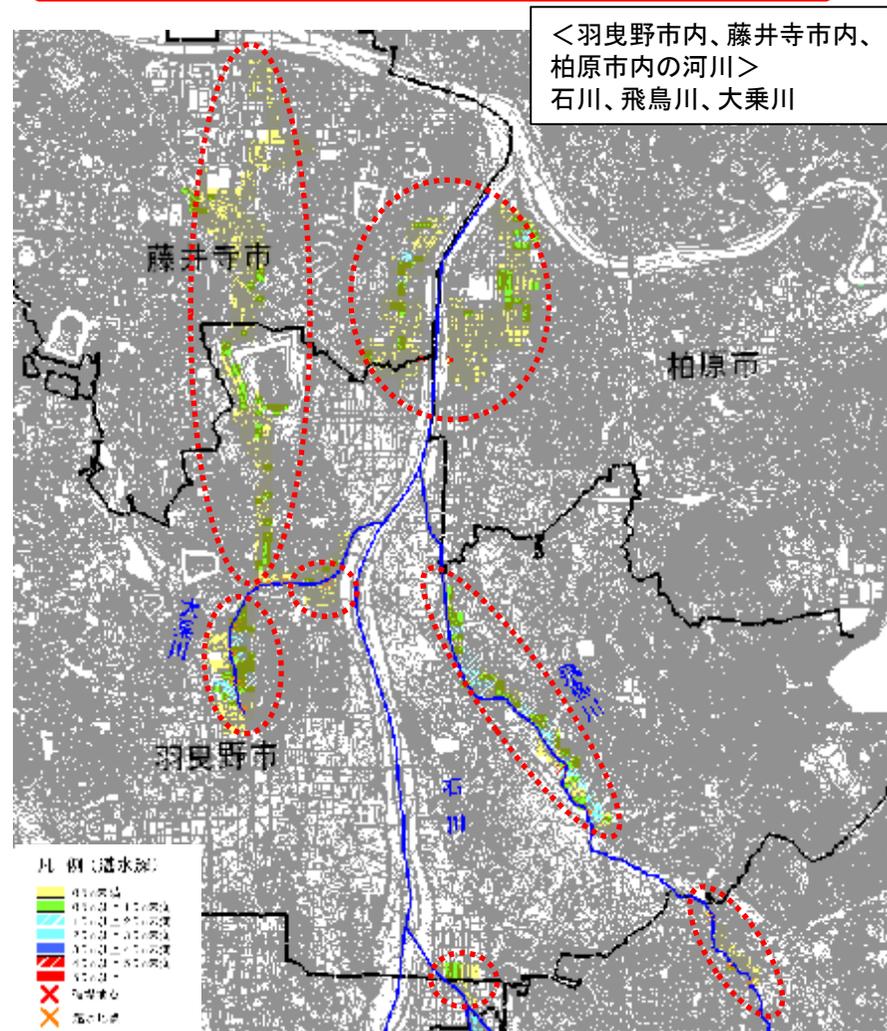
※内水浸水とは、下水道の雨水排水能力を超えることにより生じる浸水。

現状の石川ブロックにおいて、はん濫シミュレーションを行なっています。ただし、はん濫シミュレーションには内水浸水を含んでいません。

現況 時間雨量50ミリ（10年に1度の確率降雨）



現況 時間雨量65ミリ（30年に1度の確率降雨）

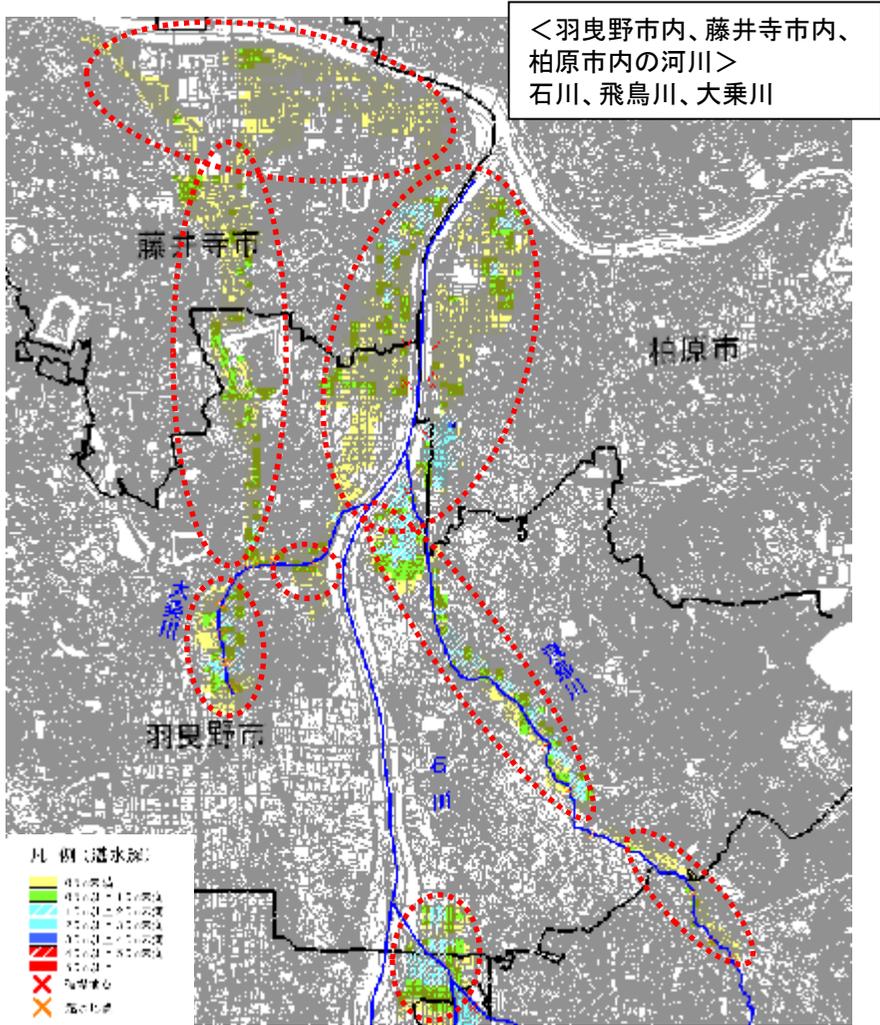


④ 洪水はん濫・浸水の危険性と地域での取組み

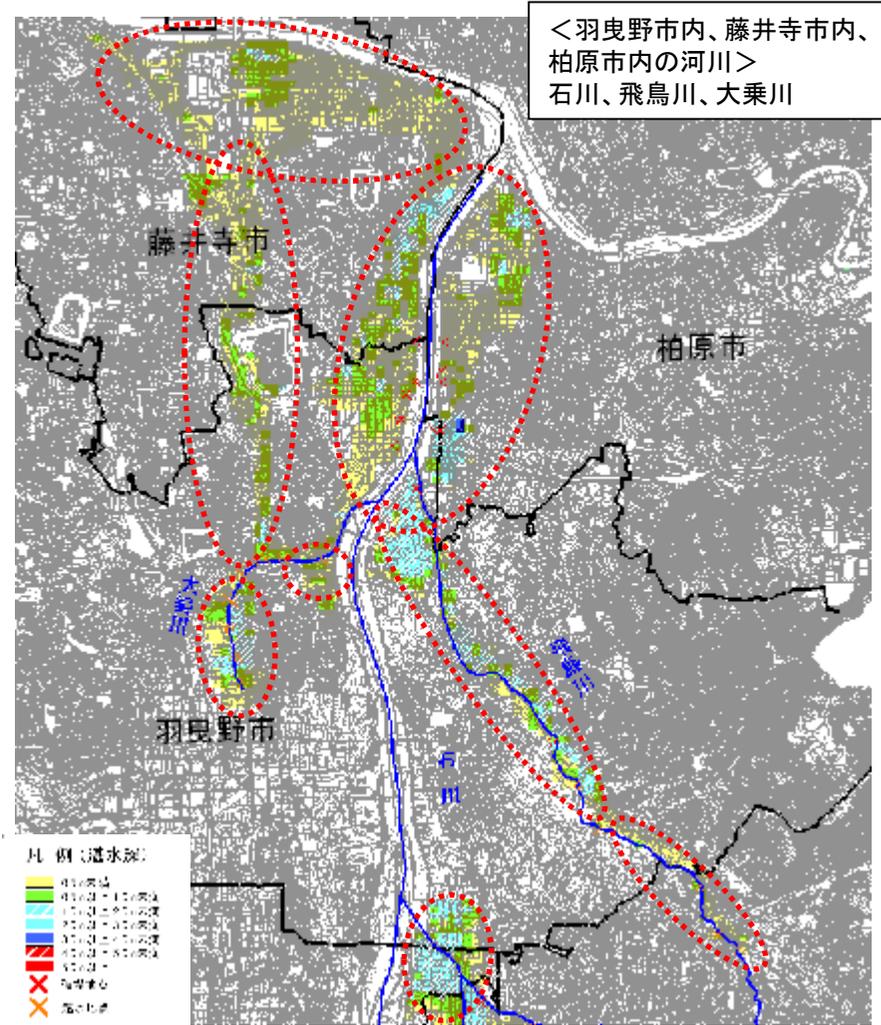
現況における洪水はん濫・浸水の危険性

現状の石川ブロックにおいて、はん濫シミュレーションを行なっています。ただし、はん濫シミュレーションには内水浸水を含んでいません。

現況 時間雨量80ミリ（100年に1度の確率降雨）



現況 時間雨量90ミリ（200年に1度の確率降雨）



④ 洪水はん濫・浸水の危険性と地域での取組み

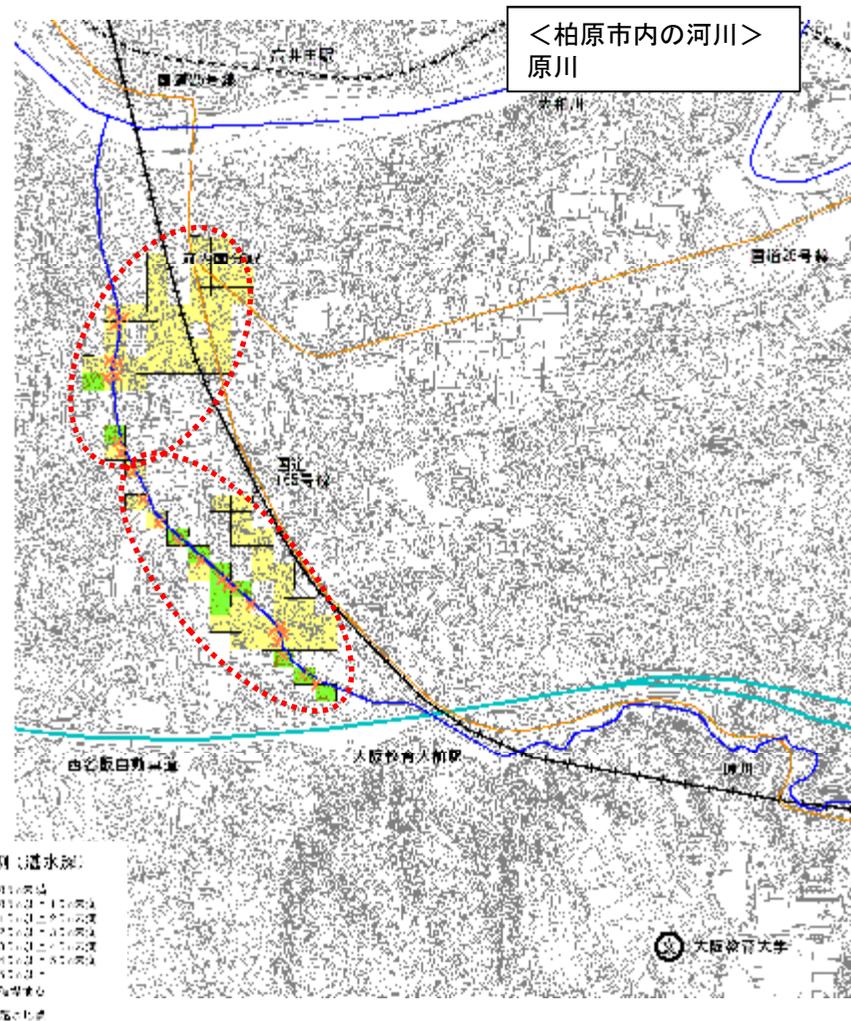
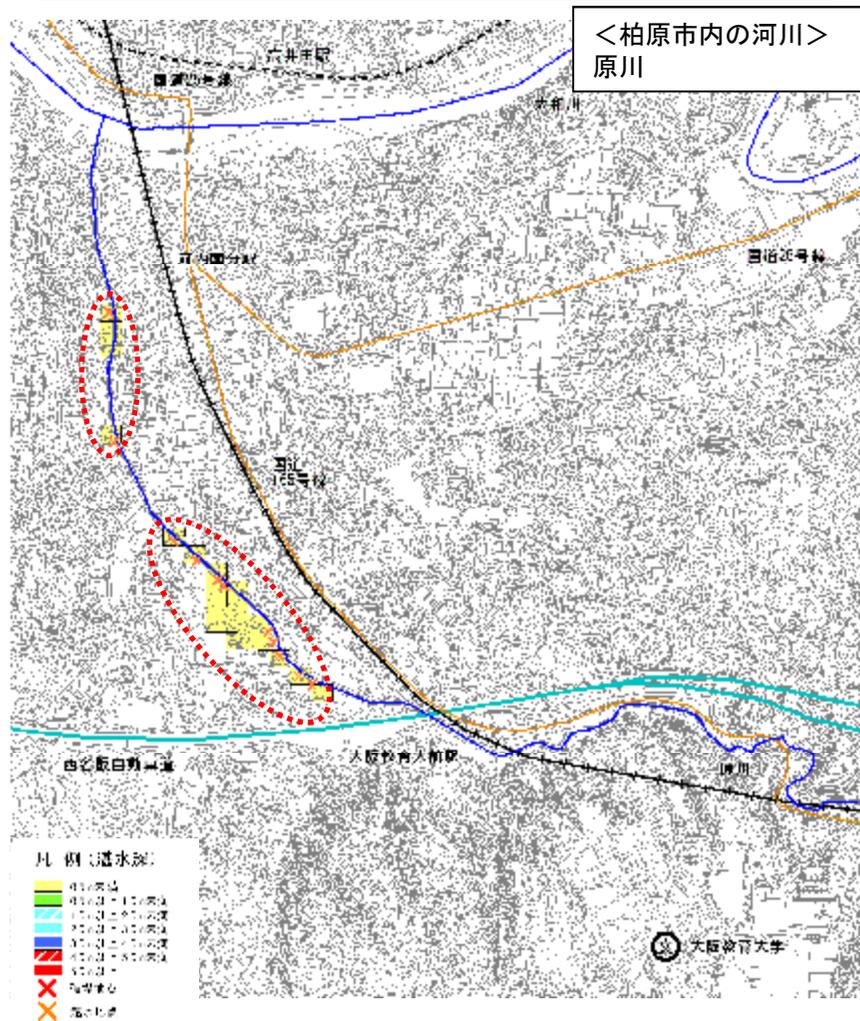
現況における洪水はん濫・浸水の危険性

※内水浸水とは、下水道の雨水排水能力を超えることにより生じる浸水。

現状の石川ブロックにおいて、はん濫シミュレーションを行なっています。ただし、はん濫シミュレーションには内水浸水を含んでいません。

現況 時間雨量65ミリ（30年に1度の確率降雨）

現況 時間雨量80ミリ（100年に1度の確率降雨）

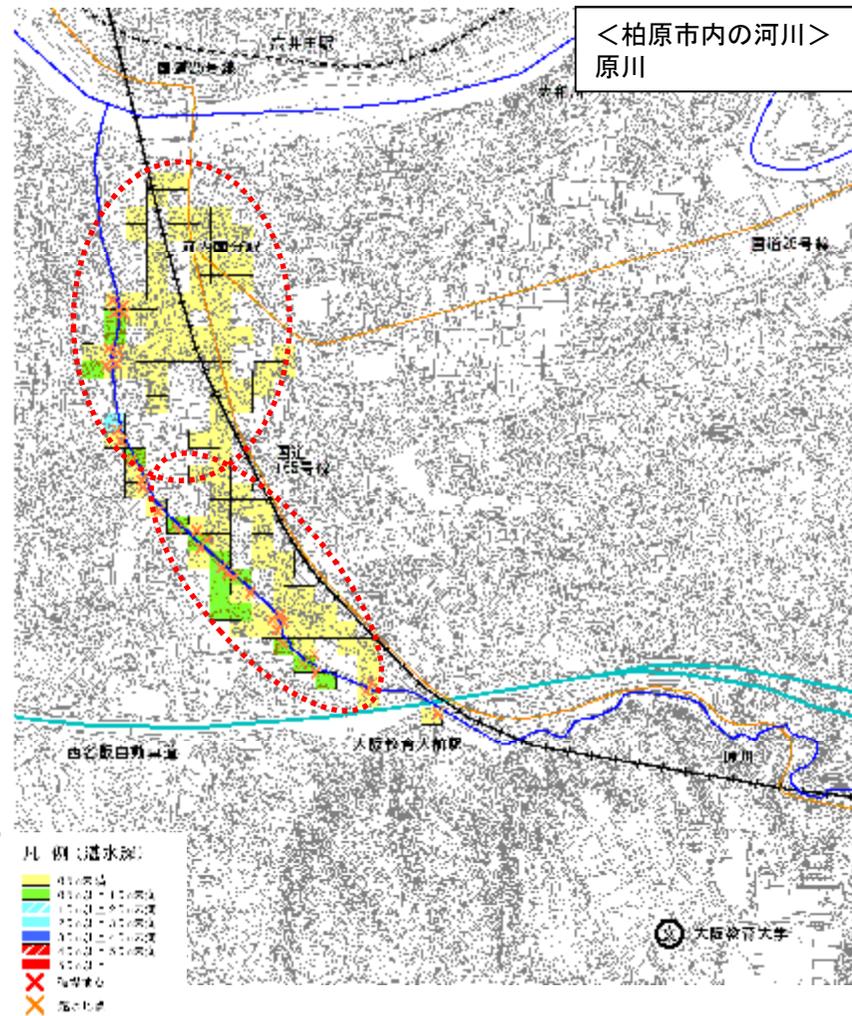


④ 洪水はん濫・浸水の危険性と地域での取組み

現況における洪水はん濫・浸水の危険性

現状の石川ブロックにおいて、はん濫シミュレーションを行なっています。ただし、はん濫シミュレーションには内水浸水を含んでいません。

現況 時間雨量90ミリ（200年に1度の確率降雨）



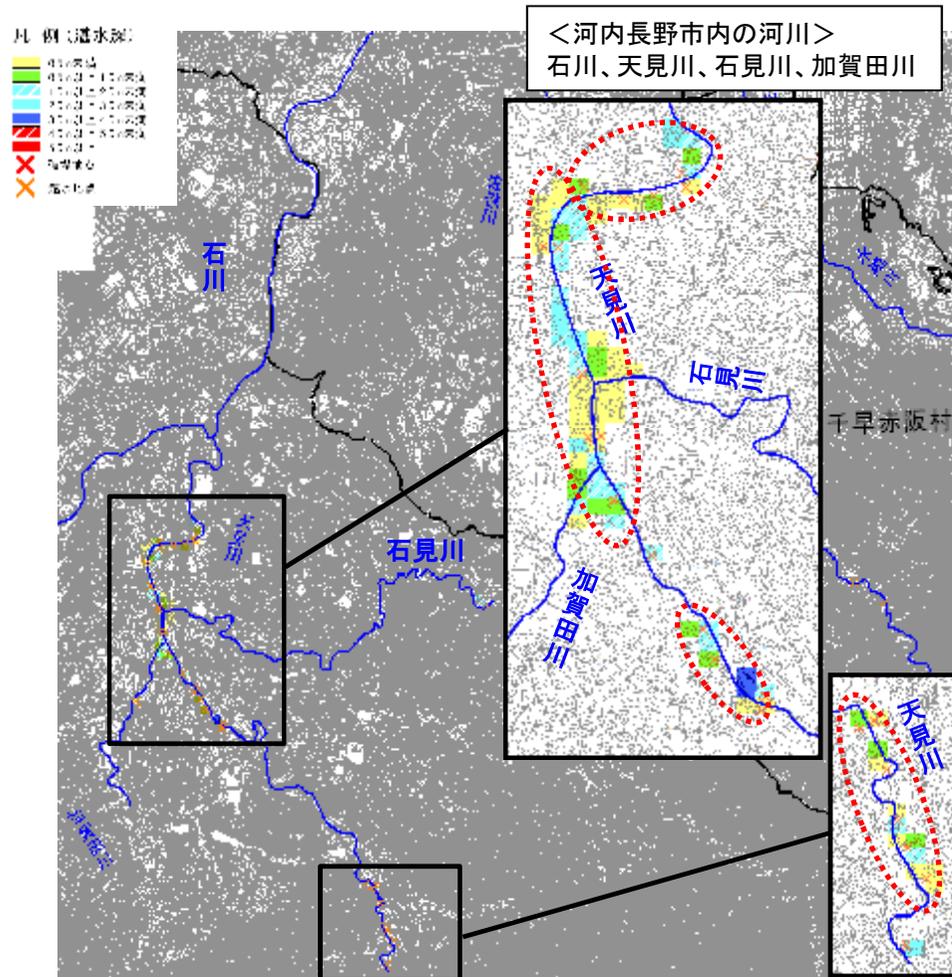
④ 洪水はん濫・浸水の危険性と地域での取組み

現況における洪水はん濫・浸水の危険性

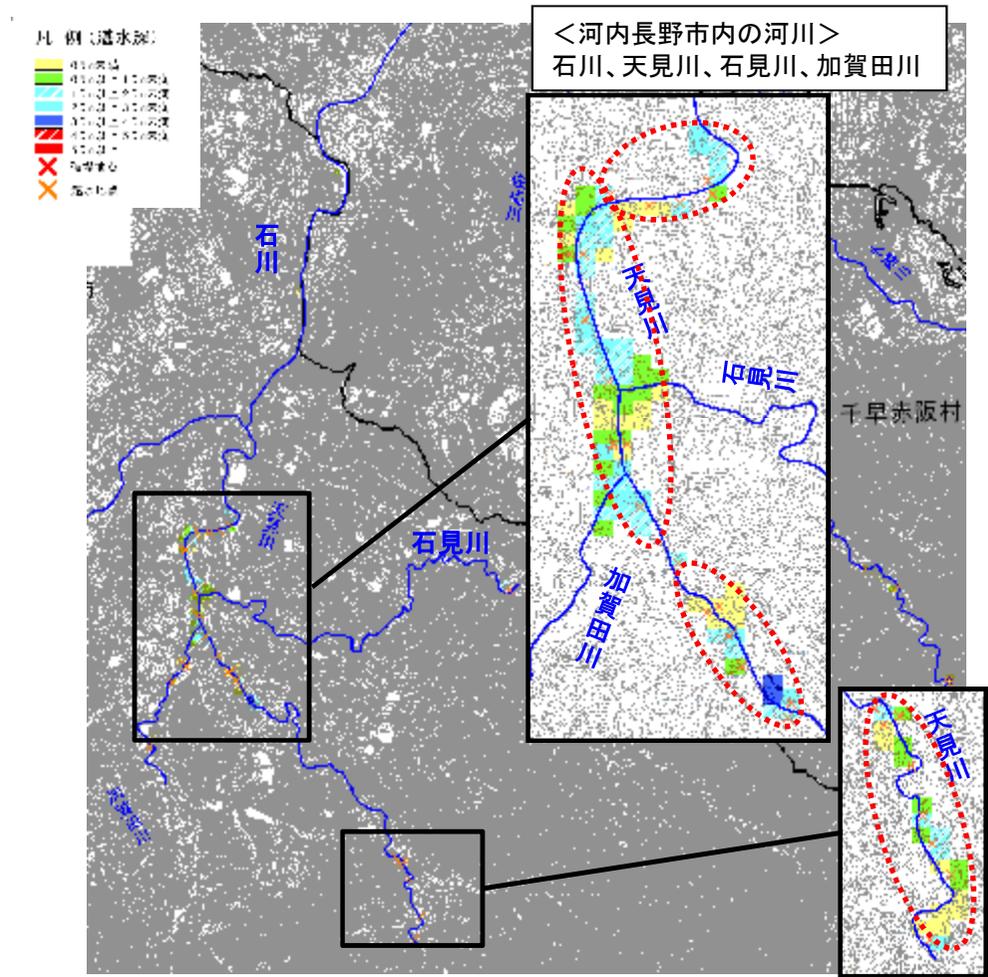
※内水浸水とは、下水道の雨水排水能力を超えることにより生じる浸水。

現状の石川ブロックにおいて、はん濫シミュレーションを行なっています。ただし、はん濫シミュレーションには内水浸水を含んでいません。

現況 時間雨量50ミリ（10年に1度の確率降雨）



現況 時間雨量65ミリ（30年に1度の確率降雨）



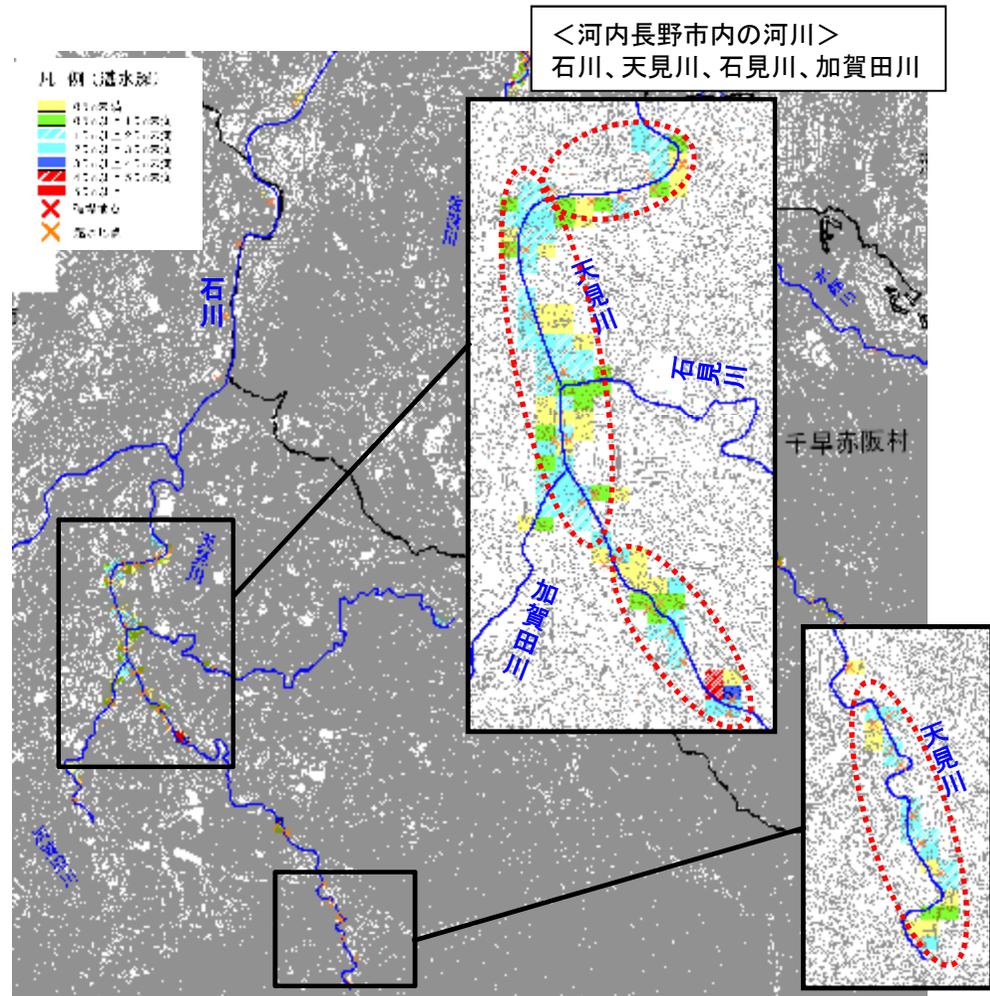
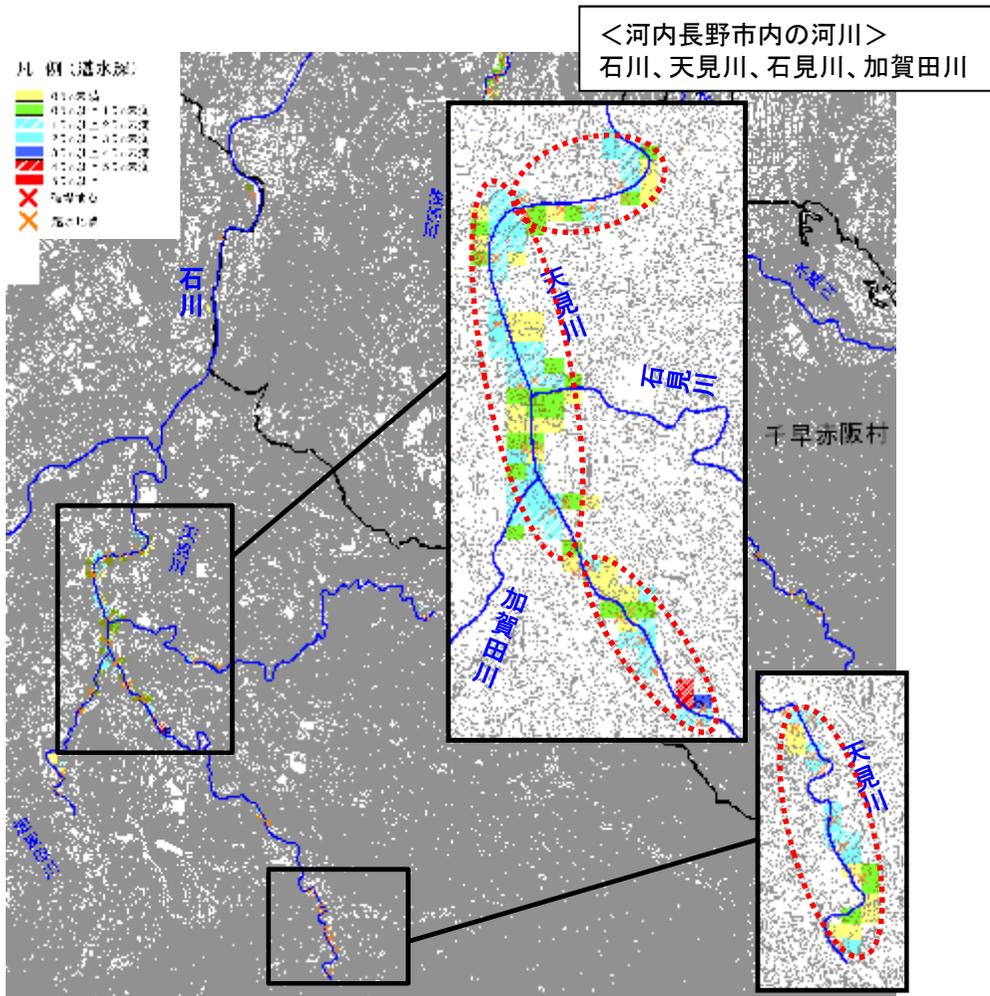
④ 洪水はん濫・浸水の危険性と地域での取組み

現況における洪水はん濫・浸水の危険性

現状の石川ブロックにおいて、はん濫シミュレーションを行なっています。ただし、はん濫シミュレーションには内水浸水を含んでいません。

現況 時間雨量80ミリ（100年に1度の確率降雨）

現況 時間雨量90ミリ（200年に1度の確率降雨）



④ 洪水はん濫・浸水の危険性と地域での取り組み

現況における洪水はん濫・浸水の危険性

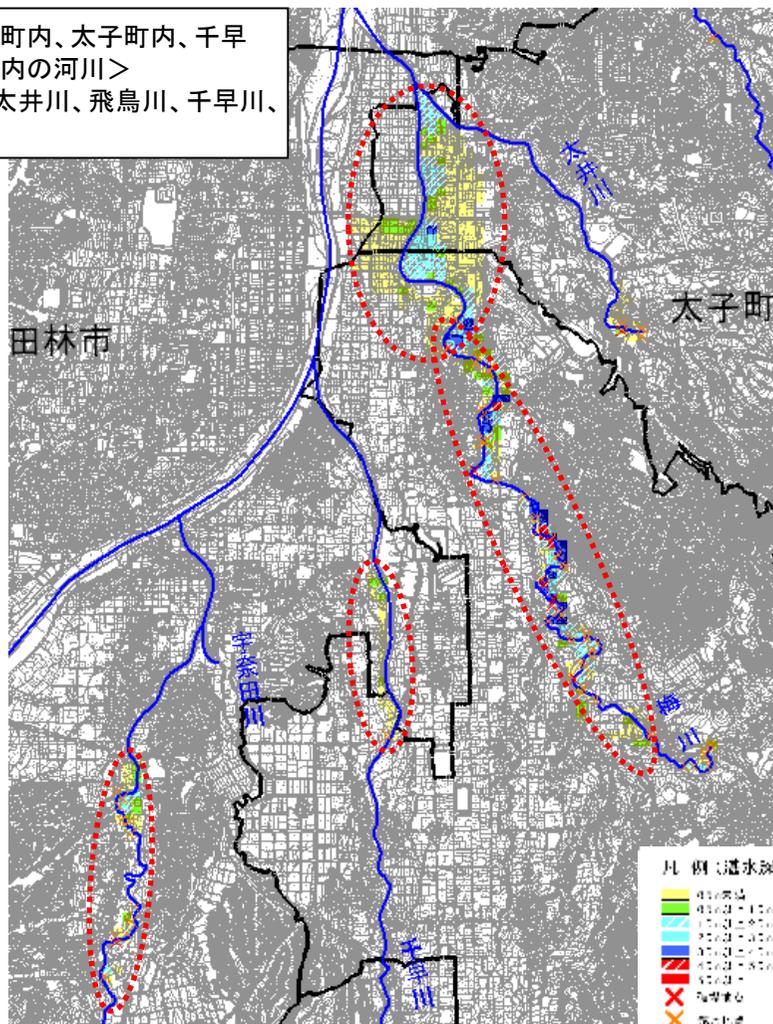
※内水浸水とは、下水道の雨水排水能力を超えることにより生じる浸水。

現状の石川ブロックにおいて、はん濫シミュレーションを行なっています。ただし、はん濫シミュレーションには内水浸水を含んでいません。

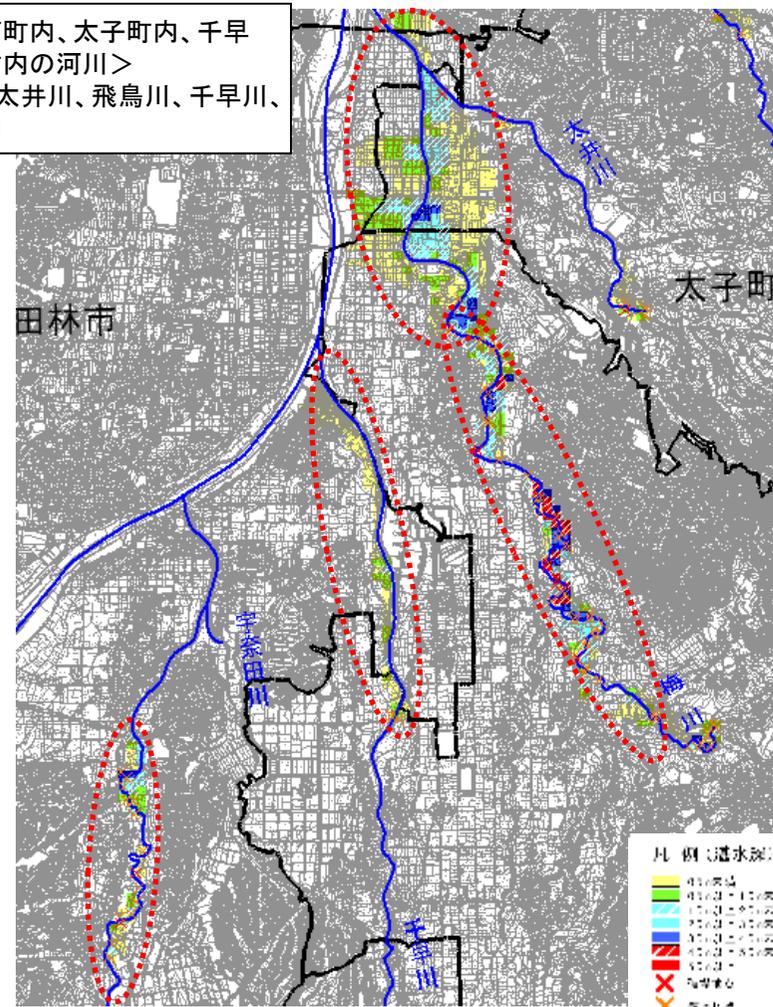
現況 時間雨量50ミリ（10年に1度の確率降雨）

現況 時間雨量65ミリ（30年に1度の確率降雨）

<河南町内、太子町内、千早赤阪村内の河川>
梅川、太井川、飛鳥川、千早川、水越川



<河南町内、太子町内、千早赤阪村内の河川>
梅川、太井川、飛鳥川、千早川、水越川



④ 洪水はん濫・浸水の危険性と地域での取組み

現況における洪水はん濫・浸水の危険性

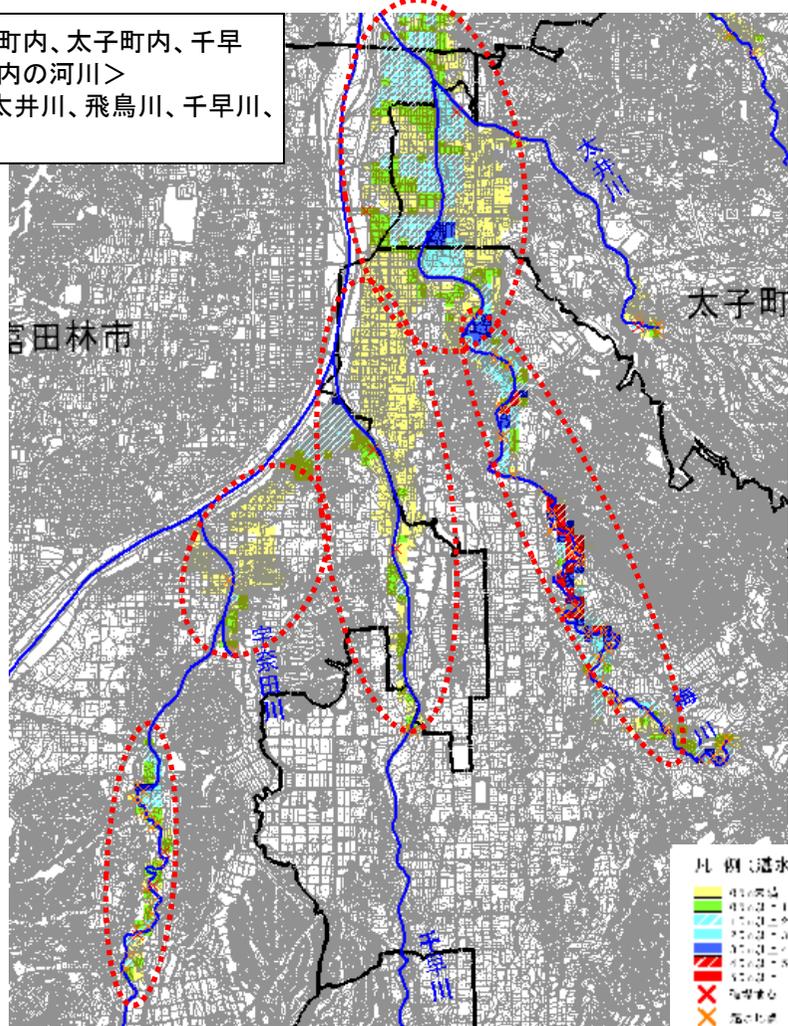
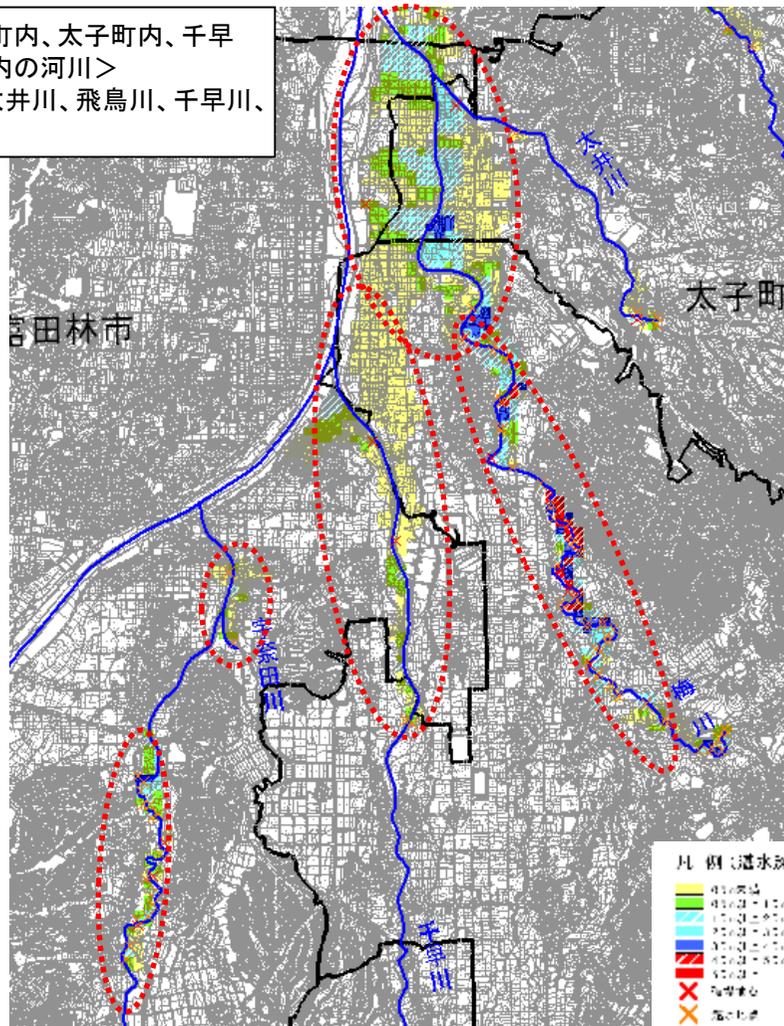
現状の石川ブロックにおいて、はん濫シミュレーションを行なっています。ただし、はん濫シミュレーションには内水浸水を含んでいません。

現況 時間雨量80ミリ（100年に1度の確率降雨）

現況 時間雨量90ミリ（200年に1度の確率降雨）

<河南町内、太子町内、千早赤阪村内の河川>
梅川、太井川、飛鳥川、千早川、水越川

<河南町内、太子町内、千早赤阪村内の河川>
梅川、太井川、飛鳥川、千早川、水越川



④ 洪水はん濫・浸水の危険性と地域での取組み

現況における洪水はん濫・浸水の危険性

※内水浸水とは、下水道の雨水排水能力を超えることにより生じる浸水。

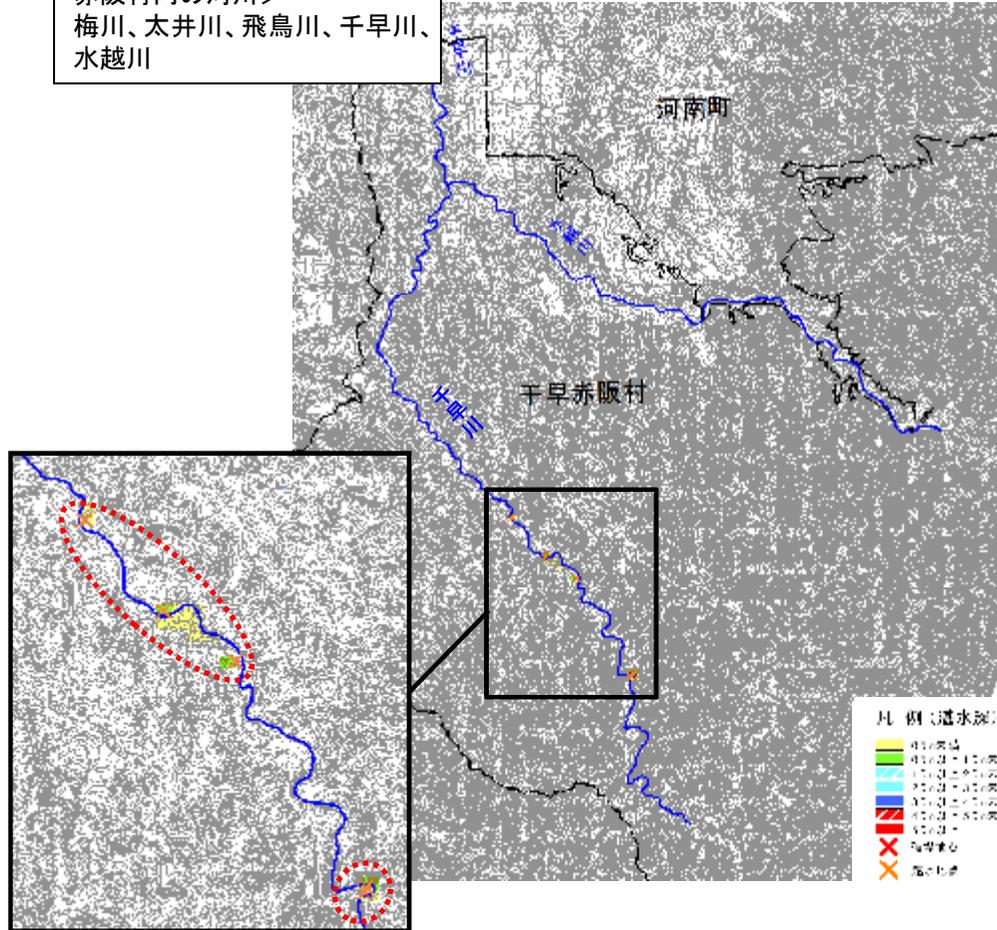
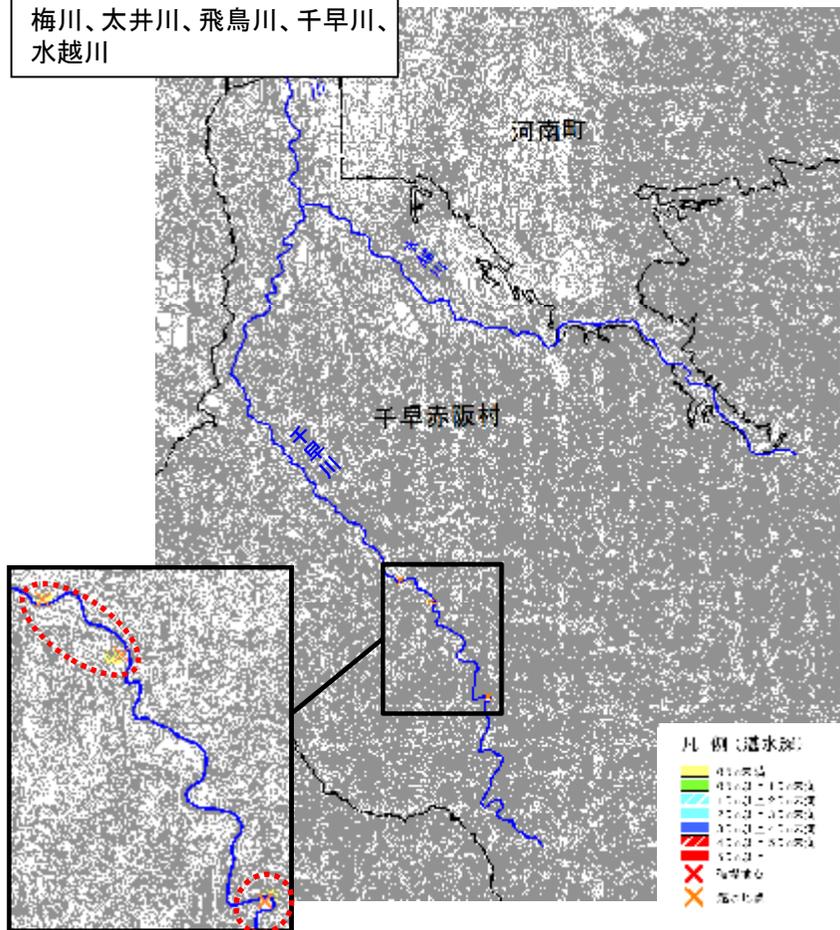
現状の石川ブロックにおいて、はん濫シミュレーションを行なっています。ただし、はん濫シミュレーションには内水浸水を含んでいません。

現況 時間雨量50ミリ（10年に1度の確率降雨）

現況 時間雨量65ミリ（30年に1度の確率降雨）

<河南町内、太子町内、千早赤阪村内の河川>
梅川、太井川、飛鳥川、千早川、水越川

<河南町内、太子町内、千早赤阪村内の河川>
梅川、太井川、飛鳥川、千早川、水越川



④ 洪水はん濫・浸水の危険性と地域での取組み

現況における洪水はん濫・浸水の危険性

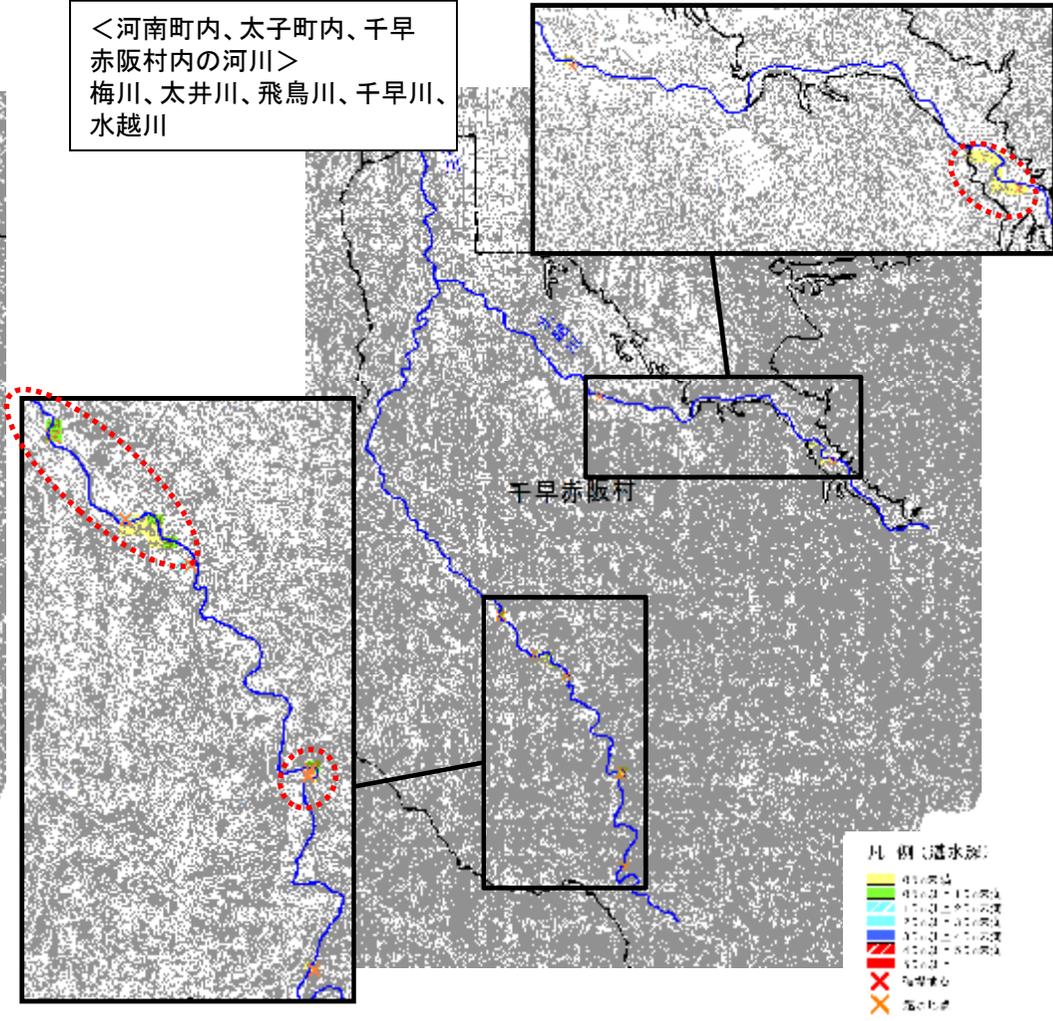
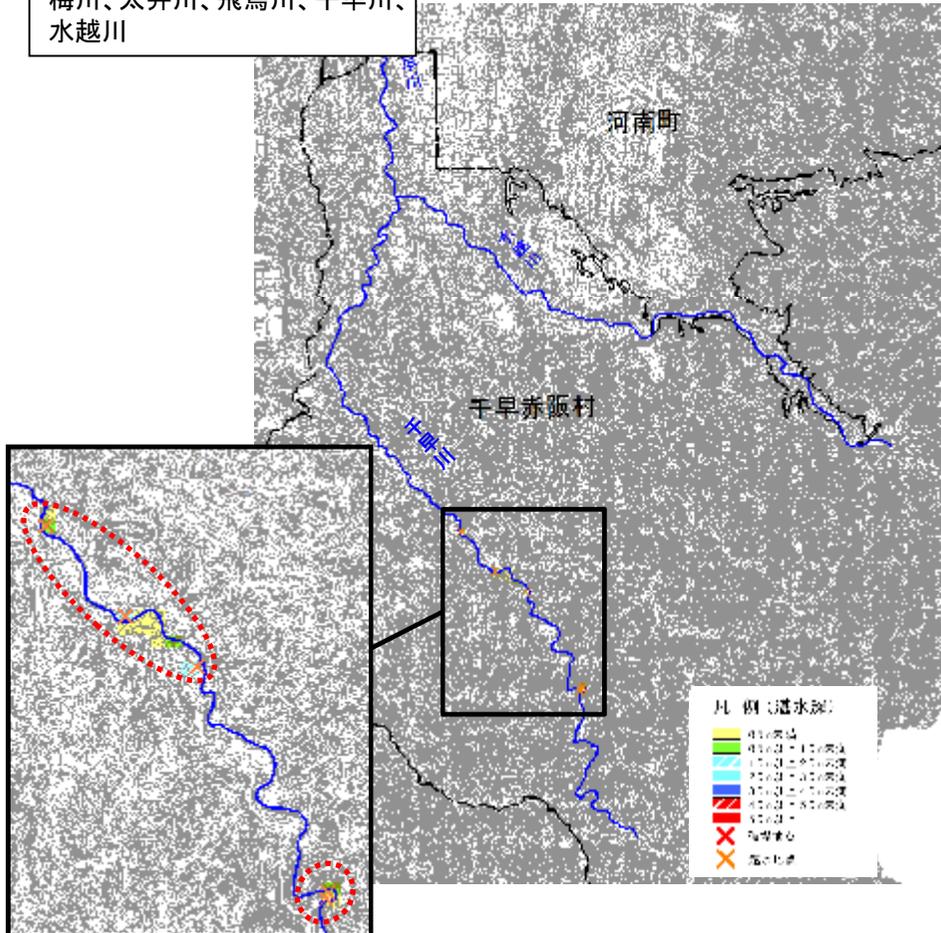
現状の石川ブロックにおいて、はん濫シミュレーションを行なっています。ただし、はん濫シミュレーションには内水浸水を含んでいません。

現況 時間雨量80ミリ（100年に1度の確率降雨）

現況 時間雨量90ミリ（200年に1度の確率降雨）

＜河南町内、太子町内、千早赤阪村内の河川＞
梅川、太井川、飛鳥川、千早川、水越川

＜河南町内、太子町内、千早赤阪村内の河川＞
梅川、太井川、飛鳥川、千早川、水越川



④ 洪水はん濫・浸水の危険性と地域での取組み

大阪府などによる情報提供

大阪府などでは、河川のはん濫や浸水に対して、流域関係市町村と連携し、府民が的確に避難行動を取れるよう情報提供をしていきます。

防災情報

【おおさか防災ネット】

<http://www-cds.osaka-bousai.net/pref/index.html>



防災情報を携帯電話で入手できます。
下のQRコードを携帯電話で読み込むか、下記アドレスを入力し、空メールを送信してください。

防災情報メール

地域に発令された警報・注意報、避難勧告など、防災情報をメールで携帯にお知らせします。
touroku@osaka-bousai.net



川の防災情報

雨雲の動きや全国の川の水位などの情報を携帯電話で入手できます。
<http://i.river.go.jp/>
直接アクセスしてください。



大阪府河川情報

身近な河川の水位や雨量の情報を携帯電話で入手できます。
<http://www-cds.osaka-bousai.net/suibou/mobile/index.html>
直接アクセスしてください。



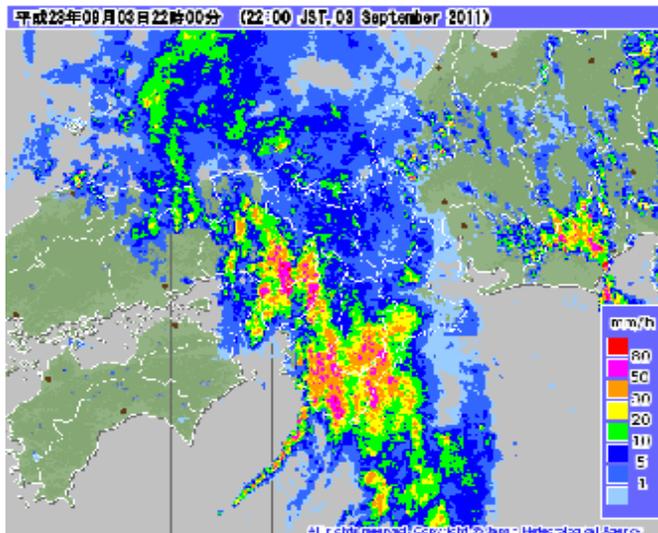
④ 洪水はん濫・浸水の危険性と地域での取組み

大阪府などによる情報提供の取組み

気象情報

【気象庁】

<http://www.jma.go.jp/jma/index.html>



気象庁では気象予報のほか、レーダによる降水状況などの情報を提供しています。
(出典: 気象庁ホームページより)

【国土交通省 防災情報提供センター】

<http://www.mlit.go.jp/saigai/bosaijoho/>

<携帯サイト>

<http://www.mlit.go.jp/saigai/bosaijoho/i-index.html>

【国土交通省 XバンドMPLレーダー雨量情報】

<http://www.river.go.jp/xbandradar/index.html>

NHKではデジタル放送のデータ放送を利用して、河川の水位・雨量の情報を提供しています。



視聴方法

NHK放送画面の時に、リモコンの「d」ボタンを押す

TOPメニューの「生活・防災情報」を選んで決定ボタンを押す。

「河川・雨量情報」を選んで決定ボタンを押す。

受信機に登録されている郵便番号を判別し、お住まいの地域の地図画面が表示されます。

④ 洪水はん濫・浸水の危険性と地域での取組み

流域関係市町村の取組み

(1) 警戒避難体制の確立

はん濫解析結果により浸水エリアを抱える流域市町村では、

・**「避難勧告等の判断・伝達マニュアル※」に基づき、皆さんの避難行動を支援しています。**

※住民に対して避難のきっかけとなる情報(避難準備、避難勧告、避難指示)を適時適切に提供するための基準書

	発生時の状況
避難準備情報	・災害の発生する可能性が高まると予想された状況
一時避難情報	・避難行動を開始しなければならない段階であるが、予想される災害が自宅内や近隣のより安全な場所への一時避難で、町民の安全が確保される程度の場合
避難勧告	・避難行動を開始しなければならない段階であり、予想される災害が指定された避難所への立ち退き避難が必要となる程度の場合
避難指示	・前兆現象の発生や、現在の切迫した状況から、災害が発生する危険性が非常に高いと判断される状況 ・堤防の隣接地、斜面の直下等、地域の特性等から人的被害の発生する危険性が非常に高いと判断された状況 ・人的被害が発生した状況

今後の取組みとして

- ・洪水リスク表示図等を基に、**住民に対する説明会等を順次開催予定**
- ・まちかどへの浸水・避難サインボードの設置を検討 など

(2) 流出抑制

雨水貯留・浸透施設の設置に対する助成

雨水を一時的に貯留させることにより、下水道や河川へ流出する水を減らし浸水リスクを軽減させる。

雨水貯留タンク設置、浄化槽の雨水貯留槽の再利用 など

国分合同会館前【柏原市】



まちかどへの浸水・
避難サインボード



雨水貯留タンク設置の例

④ 洪水はん濫・浸水の危険性と地域での取組み

個人での取組み

企業の皆様も地域住民の皆様も、洪水はん濫や浸水が起こった場合には、被害が最小限となる取組みを普段から行いましょう！

気象情報・防災情報への注意

テレビやホームページによる最新の気象情報・防災情報を入手し、チェックしましょう！

排水溝の定期的な掃除

浸水被害の原因につながる排水溝のゴミ等を定期的に掃除しましょう！

手作り土のうなどの準備

玄関や道路からの浸水を防ぐため、土のうを用意しましょう！

普段からの心掛け

「庭にはできるだけ土を残しておく」、
「雨水はためて庭の水まきなどに使う」、
「大雨のときにはお風呂の水は流さない」

避難所・避難経路の確認

避難場所や避難経路は実際に歩いて確認しておきましょう！

垂直避難の検討

外への避難と2階以上への避難のどちらがよいかを考えておきましょう！

大事な物は高所へ移動

浸水に備えて、会社の設備、家電や貴重品は高所へ移動させましょう！



④ 洪水はん濫・浸水の危険性と地域での取組み

地域での取組み

大阪府では、流域関係市町村と連携し、洪水だけでなく、地震や土砂災害時の地域特有の災害リスクも踏まえた町会単位等での地域住民が主体となった避難体制づくりに取組みます。

STEP 1 自主防災組織単位、小学校区単位による防災に関する勉強会の開催

STEP 2 自治会組織単位での防災に関する勉強会の開催

STEP 3 地域でのワークショップなどの開催

避難行動の検討
(防災マップ等の作成)



《ワークショップの開催》
住民自らの手で、避難時に必要となる情報の図面への書き込み等の活動

まちあるきの実施



作成したわかりやすい防災マップをもとに避難経路を実際に歩くことにより危険箇所を確認

防災訓練の実施



作成したわかりやすい防災マップを使った避難等の防災訓練の実施